

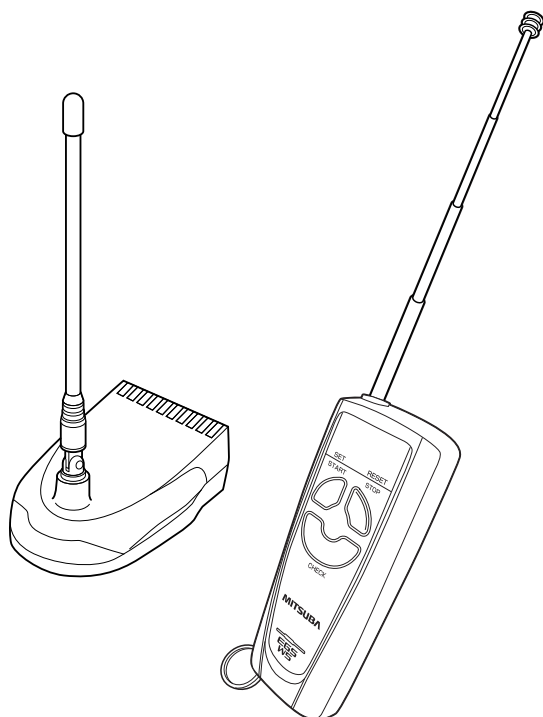
MITSUBA

リモコンエンジンスターター

EGS-W5




アンサーバックシステム搭載モデル

取付・取扱説明書（保証書付）



- ☆このたびは、EGS-W5をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
- ☆ご使用になる前に、本冊子を必ずお読み頂き、正しくご使用下さい。
- ☆お読みになった後も、本冊子は必要なときご利用出来るように大切に保管して下さい。
- ☆本商品を譲渡される場合や別の車に取り付け直す場合も、本冊子を必ず商品に付帯させ、お使いになる方がいつでも見られるようにして下さい。
- ☆本商品は日本国内でのみご使用出来ます。

この取付・取扱説明書では安全上重要な項目に下記のマークを表示しています。各マークの意味は次の通りです。

-  **危険** …… 取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う危険性が高いことを意味します。
-  **警告** …… 取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定されることを意味します。また、法律に違反することを意味します。
-  **注意** …… 取り扱いを誤った場合、傷害を負う危険が想定されることを意味します。また、商品を損傷、故障させる恐れがあることを意味します。

 **注意**

本機でエンジンをかけているときは、エアコン（ヒーター）以外のスイッチはOFFにして下さい。リヤ熱線や大容量オーディオ等を併用されますと、一部の車種ではハーネス接続部周辺が発熱し故障の原因となります。

U-PZ-0437

パッケージ内容 ※接続前に、内容をお確かめ下さい。

はじめて

リモコン

STOP/RESETスイッチは他のスイッチより少し押しにくい構造となっています。

STOP/RESETスイッチ
START/SETスイッチ
CHECKスイッチ
LED表示部
ホルダーリング
リモコンに車のキー等を取り付ける際には必ずホルダーリング部に取り付けて下さい。

アンテナユニット

LED表示部
図 A

図 A

パワースイッチ 切る ↔ ON
モードスイッチ

■モードスイッチメニュー

スイッチ番号	スイッチメニュー	OFF	ON
1	リモコンID登録	キャンセル	ID登録開始
2	LED-本体ブザー	表示有	表示無
3	始動検出方式の切替	通常モード	特殊モード
4	ターボタイマー	解除	設定

スイッチを切り替えるときは、パワースイッチを一旦切ってください。

エンジンスターター本体

CN6/別売イモビアダプター接続ポート
※このポートはシールが貼ってあります。イモビアダプター取り付けの際、シールをはがして下さい。それ以外はシールをはがさないで下さい。

アンテナユニットより
CN1
アンテナユニットケーブルガイド穴
リッド
※リッドは別売オプション品取り付けの際取り外す場合があります。それ以外は絶対に外さないで下さい。

CN5/アンテナユニットコネクター
CN2/安全センサーケーブルコネクター

図 B

オプションコネクター(リッドを外します)
CN4/別売アダプター接続ポート
CN3/別売アダプター接続ポート

付属部品セット

■マジックテープ ■エレクトロタップ
■安全センサーケーブル

中継ケーブル

ヒューズ

■コーションラベル
■結束バンド
大: 1ヶ
小: 2ヶ
■取付・取扱説明書

はじめに	<ul style="list-style-type: none"> ■パッケージ内容 2 ■目次 3 ■取り付け可能な車の条件 4 ■安全に使用するための注意 4~5 	はじめに
取り付け作業	<ul style="list-style-type: none"> ■取り付け前の準備 6 ■取り付け概念図 6 ■専用ハーネス・アンテナユニット・エンジンスターター本体の接続 6~7 ■オートマチック車の登録 8~9 ■動作確認をします 9~10 <ul style="list-style-type: none"> □エラー発生時のQ&A (9~10) ■仕上げ 10 <ul style="list-style-type: none"> □アンテナユニットの取り付け (10) □未使用端子の処理、エンジンスターター本体の取り付け (10) □コーションラベルの貼り付け (10) 	取り付け作業
操作方法	<ul style="list-style-type: none"> ■リモコンでエンジン始動 11 ■リモコンでエンジン停止 12 ■タイマーで自動停止 12 ■リモコンでエンジン状態を確認するとき 13 ■LED威嚇機能について 14~15 <ul style="list-style-type: none"> □LED威嚇機能の設定／解除方法 (14) □LED威嚇のセット方法 (15) □LED威嚇のリセット方法 (15) ■オートアンサーバック機能について 16~17 <ul style="list-style-type: none"> □オートアンサーバックの設定／解除方法 (16) □オートアンサーバック設定時のエンジン始動方法 (17) ■リモコン電子音の切替 18 <ul style="list-style-type: none"> □リモコン電子音の切替方法 (18) ■アイドリング時間の設定 19 ■ターボタイマー機能について 20 <ul style="list-style-type: none"> □ターボタイマーの設定／解除方法 (20) □ターボタイマーの使用方法 (20) □リモコンでターボタイマー停止 (20) ■ドアタイマー機能について 21 ■アンテナユニットとエンジンスターター本体の表示有無切替 22 ■スリープ機能について 22 ■本機の電源を切るときは 22 	操作方法
オプション	<ul style="list-style-type: none"> ■L端子検出方式への変更 23 ■始動検出方式の切替 23 ■グロー時間の切替 24 ■ドアスイッチ配線を行う場合 25 <ul style="list-style-type: none"> □全席ドアを検出させる場合の配線方法 (25) ■ボンネットスイッチ (別売) を取り付ける場合 26 ■ボンネットスイッチ (別売) 取り付けとドアスイッチ配線の両方を行う場合 26 ■キー始動学習機能の設定 26~27 ■オプション品 (別売) のご案内 27 <ul style="list-style-type: none"> □本機のリモコンでオプション品 (別売) を操作する場合 (27) ■オプション品 (別売) 接続時の注意事項 28 	オプション
その他	<ul style="list-style-type: none"> ■メンテナンス 28 <ul style="list-style-type: none"> □電池の交換方法 (28) □リモコンを紛失したときは (28) ■故障かな?と思ったら 29 ■仕様 30~31 <ul style="list-style-type: none"> □リモコンの電子音とLED表示について □エンジンスターター本体のブザー音について (30) ■アフターサービスについて □保証書 31~32 	その他

取り付け可能な車の条件

●「適応車種一覧表・EGSシリーズ」に記載されている車種であること。

他のエンジンスターター、もしくはターボタイマー用ハーネスを流用・加工しての取り付けは絶対にしないで下さい。「適応車種一覧表・EGSシリーズ」をよくご確認の上、車に適合した当社製専用ハーネスをご使用下さい。

●スターター作動時間が3秒以内でエンジンが始動出来る車であること。

適応車種は、以下の条件を考慮して選定しております。

- オートマチック車であること。(マニュアルトランスミッション車には取り付け出来ません。)
- 国産車であること。
- 12V車であること。
- 電子燃料噴射装置搭載車であること。

安全に使用するための注意

使用上の注意

●シフトレバーは必ずPレンジに入れて使用して下さい。

Nレンジでは使用しないで下さい。パーキングブレーキは、必ずかけて下さい。一部の車種では、リモコンでエンジン始動後そのまま走行し、その後キーでエンジンを停止するとPポジション以外でもキーが抜ける場合がありますのでご注意ください。なお、このような車種では、ドアスイッチ配線を行い乗車前に一旦エンジンを停止させ、キーで再始動すればPポジション以外でキーが抜けることはありません。

●オートライト装着車に取り付けの場合、オート状態のまま夜間にリモコンにてエンジンを始動すると、車のライトが点灯してしまい、リモコン停止や自動停止後に消灯しません。そのためバッテリー上がりの原因となりますので、ライトスイッチはOFFの状態でご使用下さい。一部の車種では「オートライトアダプター」(別売)を取り付け頂くことで、オート状態でも使用出来るようになります。

●リモコンドアロックあるいは、キーレスエントリー装着車では、エンジン駆動中(本機リモコンでのエンジン駆動中も含む)リモコンによるドアのLOCK/UNLOCK操作が出来なくなる車種があります。一度エンジンを止めるか、キーでドアを開けて下さい。「キーレスアダプター」(別売)を取り付け頂くことで、本機リモコンのスイッチ操作でドアのLOCK/UNLOCKが出来るようになります。(但し、一部の車種を除きます。必ず「適応車種一覧表・EGSシリーズ」でご確認下さい。)

●キーでエンジンを始動した後に、充電警告灯が消えない車は、エンジンスターターを使用せずに車の点検整備をして下さい。

●オートチルトおよびマイコンプリセットステアリング装着車に取り付けた場合、リモコンでのアイドリング中に、車のキーを差し込んでもステアリング機能は働きません。エンジンを止めて、再度キーを使ってエンジン始動を行って下さい。ドアスイッチ配線を行うことで、ドアを開けると同時にエンジンを停止させることも出来ます。詳しくは25～26ページを参照して下さい。

●リモコンを操作するときはアンテナを十分に伸ばして下さい。電波到達距離は、周囲の環境、アンテナユニットの設置状態、リモコンの扱い方等によって変化します。一般的に建物内や周囲に鉄筋コンクリートの建築物があったり、高圧送電線や大出力の無線等のノイズ発生源があったりすると到達距離は短くなります。また、送信時にアンテナを収納したりリモコンを手等で覆うと短くなりますので、ご注意ください。

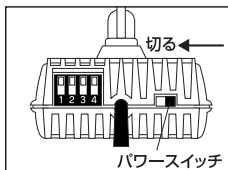
●寒冷地では、エンジンがかかりにくいことがあります。キー操作のみで3秒以内にエンジンが始動するように車を整備して下さい。

●バッテリーの弱っている車や改造車では、正常にエンジン始動出来ない場合があります。

●環境保護のため必要以上のアイドリングは行わないで下さい。

安全上の注意

⚠ 危険



下記の場合には、アンテナユニットのパワースイッチを切って下さい。事故の恐れがあります。

- 車検・整備等で車を預ける場合。
- 車検・整備等を行う場合。
- この商品の取り扱い方を知らない方が運転する場合。

●車にボディーカバー等を掛けたまま使用しないで下さい。火災の恐れがあります。

●リモコンでエンジンを始動するときは、車の近くに燃えやすい物がないことを確認して下さい。火災の恐れがあります。

●密閉されたガレージ内では使用しないで下さい。排気ガスが充満して危険です。

●人(特にお子様)やペットが車内にいるときは、絶対にエンジンを始動しないで下さい。お子様による車の操作やペットの思わぬ動きが重大事故につながる恐れがあります。

●リモコンは、お子様の手の届く所には、置かないで下さい。事故の恐れがあります。

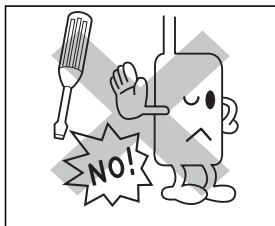
●ボンネットを開けるときはパワースイッチを切って下さい。事故の恐れがあります。

安全のため「ボンネットスイッチ」(別売)の取り付けをお勧めします。

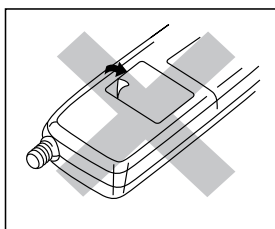
安全に使用するための注意

安全上の注意

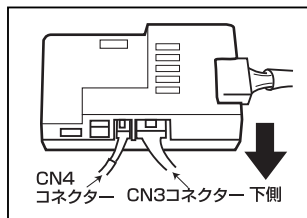
警告



この商品は特定小電力無線設備の技術基準適合証明を受けております。分解・改造することは法律で禁じられていますので絶対にしないで下さい。



リモコンおよびアンテナユニット裏面のラベルをはがしたり、ラベルの無いものを使用することは法律で禁じられていますので絶対にしないで下さい。

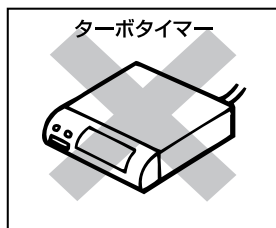


エンジンstarter本体のケーブル接続端子部に、ドライバー等の金属を接触させたり、異物を入れたりしないで下さい。内部でショートし発火する恐れがあります。

オプション品の取り付け等で、リッドを外した場合には、CN3、CN4のコネクタ面が下を向くように設置して下さい。

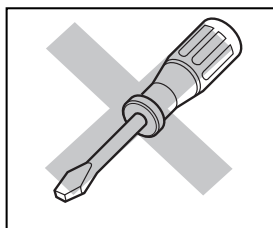
- 公道では使用しないで下さい。公道上での使用は違法となります。
- 斜面で使用される場合は、必ず輪止めをして下さい。

注意

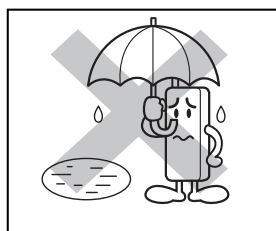


ターボタイマー

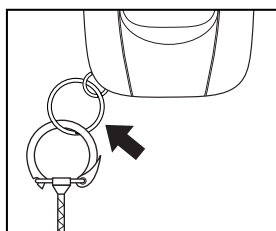
他のエンジンstarterやターボタイマー、盗難警報装置との併用は、絶対しないで下さい。故障や誤動作の原因となります。



本機の内部に異物を入れないで下さい。また、分解、改造は絶対にしないで下さい。故障の原因となります。



本機は水に濡らさないで下さい。リモコンは簡易防滴となっておりますが衣類のポケット等に入れたまま、洗濯しないように十分ご注意ください。故障の原因となります。



リモコン本体にキーホルダー等を取り付ける場合は、必ず付属のホルダーリングに取り付けて下さい。破損の原因となります。

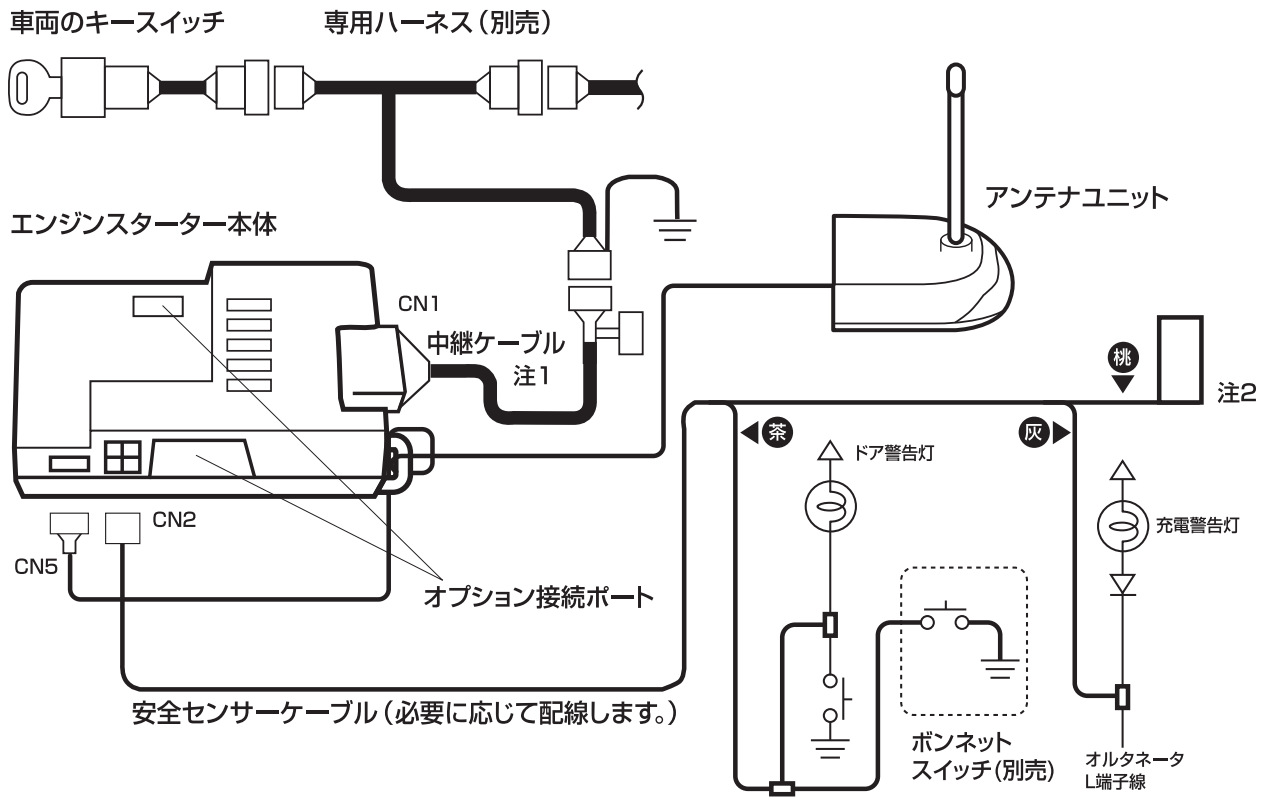
- 本機でエンジンをかけているときは、エアコン（ヒーター）以外のスイッチはOFFにしてください。リヤ熱線や大容量のオーディオ等を併用されますと、一部の車種ではハーネス接続部周辺が発熱し故障の原因となります。

- 暖気運転を行った直後に運行前点検を行うと火傷をする恐れがあります。ご注意ください。
- ヒューズ切れの直後はヒューズ部が高温となりますので、交換には注意して下さい。なお、一部車種については動作中、ヒューズ周辺の温度が上がる場合がありますのでご注意ください。
- リモコンは落としたり、硬い物にぶつけないで下さい。また、アンテナは無理な力で引き伸ばしたり、収納したりしないで下さい。故障の原因となります。
- リモコンは高温になる場所には放置しないで下さい。変形、変色や故障の原因となります。
- リモコン本体が汚れた場合は、薄めた中性洗剤をしみ込ませた布をよくしぼってふき、乾いた布でもう一度ふいて下さい。ベンジン、シンナー等は絶対に使用しないで下さい。変形、変色や故障の原因となります。

取り付け前の準備

- シフトレバーは、必ずパーキングレンジに入れて下さい。
- 車のキーは必ず抜いて下さい。
一部の車種で、カードキー等によるエンジン始動システム装着車では、不用意にエンジンがかからないようにして下さい。
- パーキングブレーキは確実にかけて下さい。
- 取り付け工具をご用意下さい。
プラスドライバー・プライヤー・ニッパ・スパナ・テスター等。(工具は本商品には同梱されていません。)

取り付け概念図



- 注1.中継ケーブルを使用しない車種もあります。
注2.専用ハーネスに付属の「専用ハーネス接続時の注意事項」に配線指示がある場合にのみ接続。

専用ハーネス・アンテナユニット・エンジンスターター本体の接続

ステップ 7

キースイッチの配線カプラーを探します。

配線カプラーの位置は大別すると次のようになります。詳しくは「適応車種一覧表・EGSシリーズ」をご確認下さい。

メモ キースイッチの配線カプラーは基本的に車種別専用ハーネスのカプラーと同形状なので、それを目安して下さい。

次のページへ進んで下さい。

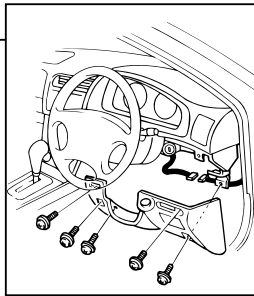
専用ハーネス・アンテナユニット・エンジンスターター本体の接続(つづき)

■タイプ1

- アンダーカバーを外し、キーシリンダーに直接接続されているか、もしくはキーシリンダー直近に位置しているタイプ。

メモ

アンダーカバーを外す際、車種によってはスピーカーカバー内や、コインポケット等に隠しネジが付いている場合があります。

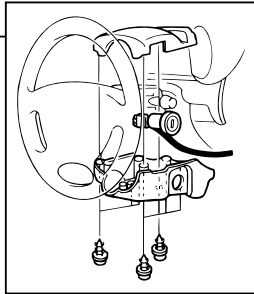


■タイプ2

- ステアリングコラムカバーを外し、キーシリンダーに直接接続されているか、もしくはキーシリンダー直近に位置しているタイプ。

メモ

ステアリングコラムカバーを外す際、車種によってはステアリングを90度位回さないとネジが外せない場合があります。

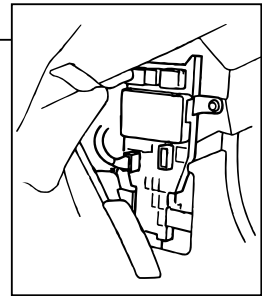


■タイプ3

- ヒューズボックスやジャンクションブロックに直接、接続されているタイプ。

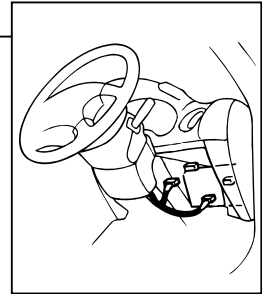
メモ

ホンダ車の場合、アクセルペダル横のヒューズボックス内に接続されている場合もあります。



■タイプ4

- 配線カプラーが2箇所に分かれているタイプ。それぞれの位置が離れているものもあります。



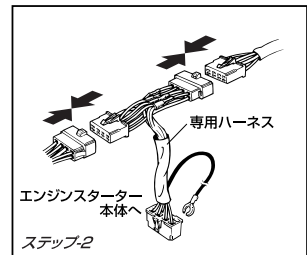
ステップ 2

専用ハーネスを接続します。

発見したキースイッチの配線カプラーを一旦外します。
車種別専用ハーネスを、外したカプラーの間に割り込ませます。
専用ハーネスに「専用ハーネス接続時の注意事項」が同梱されている場合は、追加配線を行って下さい。

注意

カプラーの接続は振動で外れないように、最後まで確実に差し込んで下さい。本機がうまく作動しないことがあります。



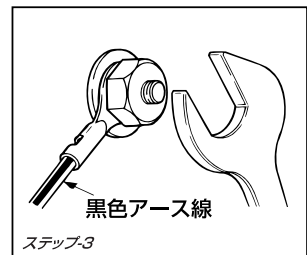
ステップ 3

アース線を接続します。

車種別専用ハーネスから出ている、黒色アース線を車体の金属部分に確実に締め付けます。これにより間接的にバッテリーのマイナスに接続されます。接続箇所を十分確認の上、適正な場所に接続して下さい。

注意

塗装されている金属部分や、車の振動等で緩んでしまう場所に取り付けしないで下さい。動作が不安定となり、オートマチック車の登録情報が消去されたり、エンジンが始動しない等の不具合が生じます。



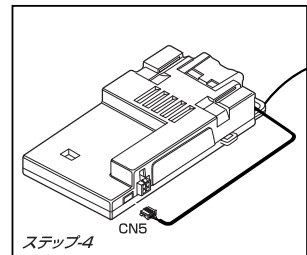
ステップ 4

エンジンスターター本体とアンテナユニットを接続します。

エンジンスターター本体のコネクター部(CN5)とアンテナユニットから出ているケーブルを接続します。

注意

ケーブルは振動などで外れないように、ケーブルガイド穴に通してからコネクター部へ確実に接続して下さい。(ステップ5イラスト参照)



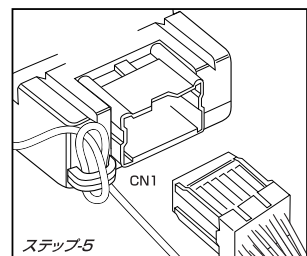
ステップ 5

エンジンスターター本体と専用ハーネスを接続します。

エンジンスターター本体のコネクター部(CN1)に中継ケーブルを経由して専用ハーネスを接続します。

注意

中継ケーブルを使用しない車種もあります。エンジンスターター本体は必ずアンテナユニットを接続してから専用ハーネスを接続して下さい。アンテナユニットより先に専用ハーネスを接続すると、約20秒後にエンジンスターター本体から警告音「ピーーツ ピーツ…」が鳴ります。警告音は専用ハーネスのコネクター部を外せば鳴り止みます。



以上で接続は終了です。

次に必ずオートマチック車の登録をして下さい。

オートマチック車の登録

マニュアル車への取り付け防止のためのオートマチック車判別機能を搭載しています。
(取り付けたときにオートマチック車の認識作業を行いますので、マニュアル車にはお取り付け出来ません。)

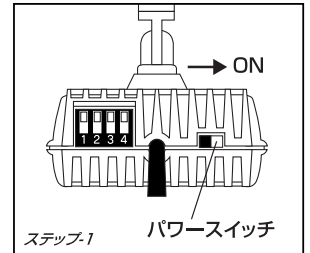
注意 登録作業はステップ1から終了までを3分以内に行ってください。もしも時間内に作業が完了しなかった場合は、エンジンスターター本体のブザー音が途中で鳴り止め、作業が中断されます。このときは、アンテナユニットのパワースイッチを一旦切って、もう一度ステップ1からやり直して下さい。

ステップ 1

アンテナユニットのパワースイッチをONにします。

このとき、エンジンスターター本体から、「ブーブー ブーブー…」と断続音が鳴り続けます。

メモ ブザーが鳴らない場合は、アースが確実に取れているか、また車種別専用ハーネスの品番が間違っていないか、再確認して下さい。

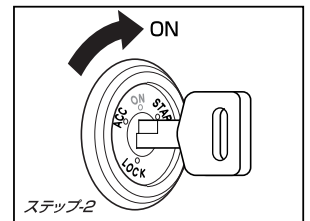


ステップ 2

キーを差し込み、ONの位置にします。

このとき、エンジンスターター本体からの断続音が、「プブッ プブッ…」の2連音へと変化します。

メモ このとき、誤ってエンジンを始動させないで下さい。もし始動させた場合、アンテナユニットのパワースイッチを一旦切って、ステップ1からやり直して下さい。

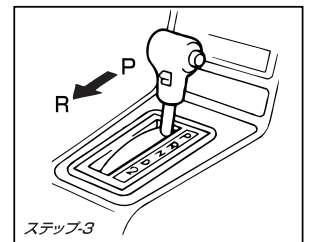


ステップ 3

シフトレバーをPレンジからRレンジへと動かします。

エンジンスターター本体からの断続音が、「プブッ プブッ…」の3連音へと変化します。

注意 ・シフト操作は、ブレーキを踏んでゆっくり操作して下さい。断続音が変わることを必ず確認して下さい。断続音が変わらない場合は一旦作業を中断し、専用ハーネス付属の「専用ハーネス接続時の注意事項」を確認して下さい。(追加配線を行う必要があります。)

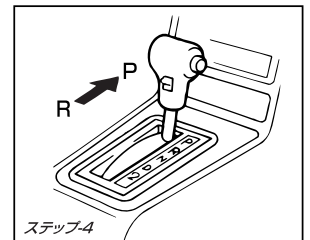


ステップ 4

シフトレバーをRレンジからPレンジへと戻します。

このとき、エンジンスターター本体から「プブッ プー」と音が鳴り、その後、「プブッ プブッ…」の2連音へと変化します。

メモ シフト操作はブレーキを踏んでゆっくり操作して下さい。断続音が変わることを必ず確認して下さい。

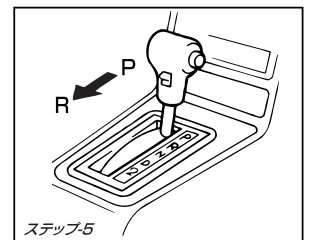


ステップ 5

再度、シフトレバーをPレンジからRレンジへと動かします。

エンジンスターター本体からの断続音が「プブッ プブッ…」の3連音へと変化します。

メモ シフト操作はブレーキを踏んでゆっくり操作して下さい。断続音が変わることを必ず確認して下さい。

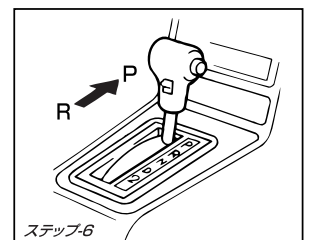


ステップ 6

シフトレバーをRレンジからPレンジへと戻します。

このとき、エンジンスターター本体から「プブッ プー」と音が鳴り、その後断続音が「プブッ プブッ…」の間欠音へと変化します。

メモ シフト操作はブレーキを踏んでゆっくり操作して下さい。断続音が変わることを必ず確認して下さい。



ステップ 7

キー操作でエンジンを始動します。

エンジンスターター本体から「プブッブー」と音が鳴りオートマチック車の登録が終了したことを知らせ、鳴り止みます。

注意 周囲の安全を確認してからエンジンを始動して下さい。終了音「プブッブーッ」がして鳴り止んだことを確認して下さい。

次のページへ進んで下さい。

オートマチック車の登録 (つづき)

ステップ 8 キーをOFFにします。
 以上でオートマチック車の登録は終了です。

メモ 車のバッテリーを外したり車種別専用ハーネス(アース線)を外すとオートマチック車の登録情報が消去されます。この場合には再度オートマチック車の登録を行って下さい。

動作確認をします

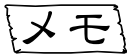


警告

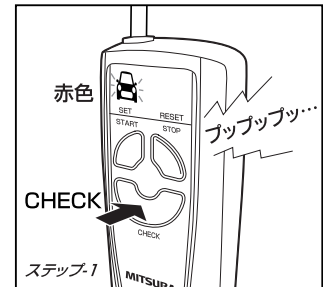
周囲の安全を確認の上、パーキングブレーキをしっかりとかけて下さい。
 シフトレバーは、必ずPレンジにして下さい。重大な事故につながる恐れがあります。

ステップ 1 リモコンのCHECKスイッチを短く(1秒以下)押します。

リモコンのロッドアンテナを最後まで引き出して、CHECKスイッチを短く(1秒以下)押すとスイッチ操作待ち表示【音「ブツブツ…」、LED赤色点滅】を3秒間表示します。

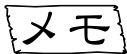


・CHECKスイッチを長く(1秒以上)押ししまうと、「エンジン始動状態の確認」送信となります。アンサーバック表示終了後に、もう一度CHECKスイッチを短く押して下さい。

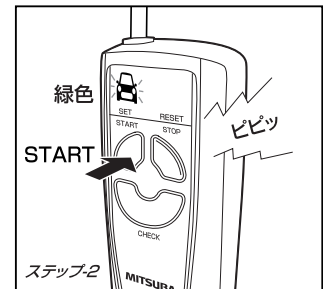


ステップ 2 3秒以内にSTARTスイッチを押します。

スイッチ操作待ち表示中にSTARTスイッチを送信音「ビピッ」が鳴るまで押します。その約1秒後にアンサーバック表示【音「ビピッ」、LED緑色1回点滅】をします。



STARTスイッチを押す前に、スイッチ操作待ち表示が終了(3秒経過)してしまった場合は、ステップ1からやり直して下さい。スイッチ操作待ち表示終了後にSTARTスイッチを押すとLED威嚇のセット(設定時)およびオプション品のセット(別売・取り付け時)の送信となります。

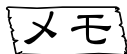


ステップ 3 車のエンジンが始動します。

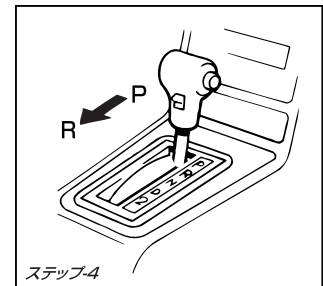
エンジンスターター本体が信号を受信すると、数秒後にスターターが回りエンジンが始動します。エンジン始動後は、エンジンスターター本体から警告音「ブツ」が数秒間隔で鳴り続けアンテナユニットの緑色LEDが点滅を始めます。一度で始動しない場合は、その後2回のリトライ(再始動)動作を行います。

ステップ 4 シフトセンサーの確認をします。

リモコンでエンジンが始動した後、キーを差さずにフットブレーキをしっかりと踏みながら、シフトレバーをゆっくりとPレンジからRレンジへと動かします。このときエンジンが止まることを確認します。



車種によっては、キーを差さないとシフトレバーが動かせないものもあります。その場合は、キーをACCの位置まで回して確認して下さい。



以上で動作確認は終了です。

正常に動作しない場合は、下記の「エラー発生時のQ&A」を参考に対処して下さい。

エラー発生時のQ&A

Q (症状)	A (対処方法)
<ul style="list-style-type: none"> ●ステップ2でSTARTスイッチ操作1秒後のアンサーバック表示が説明と異なるのですが…? ●エンジンは始動しているのに数秒で停止してしまい、自動的に再始動(リトライ)が行われてしまうのですが…? ●エンジンは始動していないのにメーターパネルが点灯したままになってしまいますが…? ●一部ディーゼル車で寒冷時に始動がうまく行われませんが…? 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 13ページの「リモコンでエンジン状態を確認するとき」を参照して下さい。 ▶ エンジンの自動始動検出が、うまく行われていないと考えられます。詳しくは、23ページの「L端子検出方式への変更」を参照して下さい。 ▶ エンジンの自動始動検出が、うまく行われていないと考えられます。詳しくは、23ページの「始動検出方式の切替」を参照して下さい。 ▶ グロー(予熱時間)が足りないことが考えられます。詳しくは、24ページの「グロー時間の切替」を参照して下さい。

次のページへ進んで下さい。

動作確認をします (つづき)

Q (症状)	A (対処方法)
<ul style="list-style-type: none"> ● スターターモーターの駆動時間が短いために、1回目のスターター駆動でエンジンがかからず、リトライしてしまうのですが…? ● リモコン操作による始動後にABS警告灯が消灯しないのですが…? ● リモコン操作によるエンジン始動後、シフトレバーをPレンジからRレンジへと動かしてもエンジンが停止しないのですが…? 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ スターターモーターの駆動時間を学習させることが出来ます。詳しくは、26～27ページの「キー始動学習機能の設定」を参照して下さい。 ▶ キー始動学習を行うことで警告灯が消灯ようになります。詳しくは、26～27ページの「キー始動学習機能の設定」を参照して下さい。 ▶ 専用ハーネスの品番が正しいか確認して下さい。品番が正しい場合は当社技術サービスまでご連絡下さい。

仕上げ

アンテナユニットの取り付け

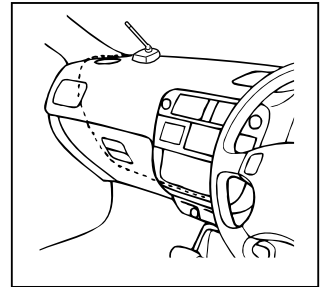
アンテナユニットを設置します。

ダッシュボードのサイドビラーおよびデフォグガー吹き出し口から10cm以上離し、出来るだけフロントガラスに近い平らな場所に設置して下さい。
マジックテープは、アンテナユニット裏面のラベルを避けて貼って下さい。



警告

アンテナユニットは、運転の妨げにならない場所に設置して下さい。アンテナを手前寄りに取り付けた場合、急ブレーキ等によりアンテナに顔をぶつけてケガをする恐れがあります。ガラス面に近い場所にしっかり固定して下さい。エアバック装着車には、エアバックカバー部へ固定しないで下さい。エアバック作動時にケガをする恐れがあります。



未使用端子の処理、エンジンスターター本体の取り付け

ステップ 1

安全センサーケーブルを接続したときの未使用端子を絶縁処理します。

安全センサーケーブルを接続してドアスイッチ配線を行わなかった場合は、ドアスイッチ配線に付いているギボシ端子をビニールテープ等で絶縁処理して下さい。



注意

絶縁処理は確実に行って下さい。ショートして誤作動、故障の原因となります。

ステップ 2

配線したケーブル類を整理します。

これまでに配線した、ケーブル類、専用ハーネス等をビニールテープや付属の結束バンド等で確実に固定して下さい。



警告

配線類が挟み込まれたりすると、断線やショートの原因となり、本機や車の故障、さらには車両火災を起こす可能性があります。ステアリングシャフトやブレーキペダルの可動部付近には固定しないで下さい。運転の妨げになり事故の原因となります。

ステップ 3

エンジンスターター本体を設置します。

エンジンスターター本体を運転操作の邪魔にならない場所に、付属の結束バンド等を使用して設置します。



警告

エンジンスターター本体は、直射日光の当たる場所、エアコンの吹き出し口等の高温になる場所や足下の水の跳ね返りや外部からの水に触れる場所には設置しないで下さい。故障の原因となります。また、ステアリングシャフトやブレーキペダルの可動部付近には設置しないようにして下さい。エンジンスターター本体が干渉した場合、運転操作を妨げる恐れがあります。設置するときは、コネクタ部 (CN1) およびカブラー部へ無理な力をかけたり、強くまげられた状態で固定しないで下さい。接続部周辺が発熱し、故障の原因となります。

ステップ 4

外したアンダーカバー等を元に戻します。

コーションラベルの貼り付け

エンジンルーム内の目立つ場所に貼って下さい。貼り付ける際には汚れや油分等をきれいに除去して下さい。



危険

ボンネットを開けて作業している際に、誤って始動操作が行われると大変危険です。必ず目立つ場所に貼って下さい。

以上で取り付けは終了です。

リモコンでエンジン始動

ステップ 1

あらかじめ車を下記の状態にします。

1. アンテナユニットのパワースイッチをONにする。
2. パーキングブレーキを確実にかける。
3. シフトレバーをPレンジに入れる。
4. 必要に応じてエアコンをセットする。
5. オートライト装着車は、ライトスイッチをOFFにする。
6. キーを抜く。



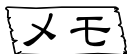
注意

リモコンでエンジンをかけるときは、エアコン（ヒーター）以外のスイッチはOFFにしてください。リヤ熱線や大容量のオーディオ等を併用されますと、一部の車種ではハーネス接続部周辺が発熱し故障の原因となります。

ステップ 2

リモコンのロッドアンテナを最後まで引き出してCHECKスイッチを短く（1秒以下）押します。

CHECKスイッチを短く（1秒以下）押すとスイッチ操作待ち表示【音「ブップブツ…」、LED赤色点滅】を3秒間表示します。



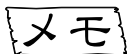
・CHECKスイッチを長く（1秒以上）押してしまうと、「エンジン始動状態の確認」送信となります。アンサーバック表示終了後に、もう一度CHECKスイッチを短く押して下さい。



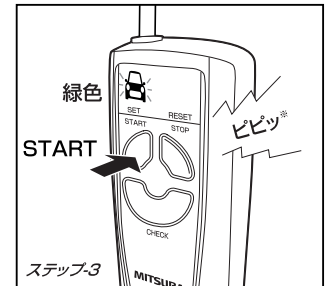
ステップ 3

3秒以内にSTARTスイッチを押します。

スイッチ操作待ち表示中にSTARTスイッチを送信音「ピピッ」*が鳴るまで押します。その約1秒後にアンサーバック表示【音「ピピッ」、LED緑色1回点滅】をします。



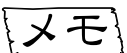
- ・STARTスイッチを押す前に、スイッチ操作待ち表示が終了（3秒経過）してしまった場合は、ステップ2からやり直して下さい。スイッチ操作待ち表示終了後にSTARTスイッチを押すとLED威嚇のセット（設定時）およびオプション品のセット（別売・取り付け時）の送信となります。
- ・アンサーバック表示が異なる場合は、13ページの「リモコンでエンジン状態を確認するとき」を参照して下さい。
- *メロディ設定時は「ピロピロピロピロピ」になります。メロディへの切り替えは、18ページの「リモコン電子音の切替」を参照して下さい。



ステップ 4

車のエンジンが始動します。

数秒後、スターターが回りエンジンが始動します。一度で始動しない場合は、その後2回のリトライ（再始動）動作を行います。



リモコンによるエンジン駆動中は、リモコン始動直後から数秒間隔でエンジンスターター本体から警告音「ピッ」が鳴り始め、残り時間に連動して徐々に短くなり、自動停止1分前は連続音へと変わり、使用者にキー以外でのエンジン始動を知らせます。またリモコン操作によるエンジン駆動中は、アンテナユニットのLED表示部が緑色点滅をします。リモコン操作によるエンジン駆動中のエンジンスターター本体の警告音とアンテナユニットのLED表示を行わないようにすることも出来ます。詳しくは22ページの「アンテナユニットとエンジンスターター本体の表示有無切替」を参照して下さい。

ステップ 5

走行します。

車のキーを差し込み、ONの位置まで回して下さい。後は通常通り走行出来ます。なお、ドアスイッチへの配線を行っている場合、ドアを開けるとエンジンは停止しますので、キーにて再度エンジン始動して下さい。



警告


キーを回す際に、誤ってSTART (STT) の位置まで回すとスターターモーターを傷める場合があります。

リモコンでエンジン停止

本機によるエンジン駆動中は、リモコン操作でエンジンを停止することができます。

ステップ 1

リモコンのロッドアンテナを最後まで引き出してCHECKスイッチを短く（1秒以下）押します。

CHECKスイッチを短く（1秒以下）押すとスイッチ操作待ち表示【音「プッププツ…」、 LED赤色点滅】を3秒間表示します。


メモ

- ・CHECKスイッチを長く（1秒以上）押ししまうと、「エンジン始動状態の確認」送信となります。アンサーバック表示終了後に、もう一度CHECKスイッチを短く押して下さい。



ステップ 2

3秒以内にSTOPスイッチを押します。

スイッチ操作待ち表示中にSTOPスイッチを送信音【音「ピーツ」*】が鳴るまで押します。その約1秒後にアンサーバック表示【音「ピーツ」*、 LED赤色1回点滅】をします。

メモ

- ・STOPスイッチを押す前に、スイッチ操作待ち表示が終了（3秒経過）してしまった場合は、ステップ1からやり直して下さい。スイッチ操作待ち表示終了後にSTOPスイッチを押すとLED威嚇のリセット（設定時）およびオプション品のリセット（別売・取り付け時）の送信となります。
- ・アンサーバック表示が異なる場合は、13ページの「リモコンでエンジン状態を確認するとき」を参照して下さい。
- ・STOPスイッチは他のスイッチよりすこし押しにくい構造となっています。
- *メロディ設定時は「ポロポロポロポロ」になります。メロディへの切り替えは、18ページの「リモコン電子音の切替」を参照して下さい。



ステップ 3

車のエンジンが停止します。

タイマーで自動停止

始動後約20分（初期状態）でエンジンは自動停止します。自動停止するまでのアイドリング時間は「5分／20分／30分」に変更することができます。詳しくは19ページの「アイドリング時間の設定」を参照して下さい。

リモコンでエンジン状態を確認するとき

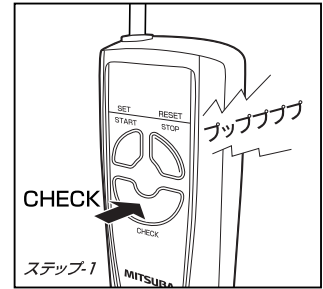
本機は、リモコンでエンジン始動、停止の状態を確認することができます。

ステップ
1

リモコンのロッドアンテナを最後まで引き出してCHECKスイッチを長く（1秒以上）押します。

CHECKスイッチを長く（1秒以上）押すと音「ブッ ブブブ」が鳴り、「エンジン始動状態の確認」を送信します。このときLED表示はしません。

メモ ・CHECKスイッチを短く（1秒以下）押してしまうと、スイッチ操作待ち表示となります。スイッチ操作待ち表示が終了後にもう一度CHECKスイッチを長く押して下さい。



ステップ
2

リモコンのアンサーバック表示を確認します。

「エンジン始動状態の確認」送信後に車の状態を表すアンサーバック表示がされます。

メモ 「リモコン電子音の切替」でメロディに設定されている場合は、一部のアンサーバック表示がメロディ音となります。リモコン操作音をメロディにする場合は、18ページの「リモコン電子音の切替」を参照して下さい。

■エンジンを始動中(リトライ含む)です。

音:「ピッピッ」
(メロディ時「ドミソソソ」)
LED表示: 緑色2回点滅



■アイドリング中です。(ターボタイマー含む)

音:「ピッピッピッピッ」
(メロディ時「ドミソシレファラド」)
LED表示: 緑色2秒点灯



■エンジンは停止中です。

音:「ピーピーッ」
(メロディ時「ドラファレシソミド」)
LED表示: 赤色2秒点灯



その他のアンサーバック表示

以下の表示のときはブザー音のみとなりメロディ音の設定はありません。これらの表示がされた場合は、必要に応じて対処して下さい。

■オートマチック車の登録がされておられません。

音:「ブーブー」
LED表示無し



→「オートマチック車の登録」をして下さい。詳しくは、8~9ページの「オートマチック車の登録」を参照して下さい。

■安全機能が働いています。

音:「ピビビッピビッ」
LED表示: 橙色3回点滅



→ドア(配線時)、ボンネット(別売ボンネットスイッチ取り付け時)を閉めて下さい。

■アンテナユニットからのアンサーバック信号が受信出来ません。

音:「ブーブー」
LED表示: 橙色2秒点灯



→キーをOFFにして下さい。リモコンのアンテナを伸ばして下さい。パワースイッチをONして下さい。

■キャリアセンスエラーです。

音:「ブブブブ」
LED表示: 橙色4回点滅



→しばらくしてからリモコンを操作して下さい。キャリアセンスエラーの詳細は、30ページの中段「注意2」を参照して下さい。

■LED威嚇機能による警報表示中です。

音:「ブーブーブーブー」
LED表示: 赤色と緑色が交互に3回点滅



→詳しくは、14~15ページの「LED威嚇機能について」を参照して下さい。

LED威嚇機能について

LED威嚇機能を設定し、セット状態にすると、アンテナユニットのLED表示部が点滅するようになり、不審者に対して威嚇が出来ます。
取り付け時（初期状態）の設定は、LED威嚇機能は解除されております。

メモ

- ・ドア配線、ボンネットスイッチ（別売）取り付け時には、LED威嚇セット中に、ドアやボンネットを開けると、アンテナユニットのLED表示が警報表示をします。
- ・LED威嚇機能を設定すると、リモコンのセット送信またはリセット送信をしたときに、エンジンスターター本体から受付音が鳴るようになります。
セット送信受付音：「ピーツ・ピツ」 リセット送信受付音：「ピビピビツ」

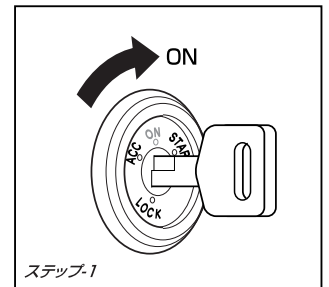
LED威嚇機能の設定/解除方法

ステップ 1

キーをONの位置にします。

メモ

このとき、誤ってエンジンを始動させないで下さい。
以降の操作が出来ません。



ステップ 2

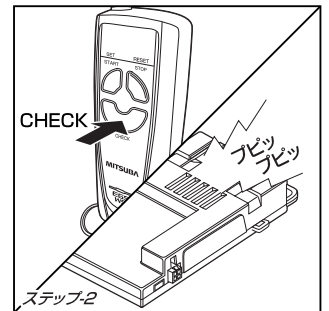
10秒以内にリモコンのCHECKスイッチを長く（1秒以上）押します。

エンジンスターター本体から「フピツ フピツ…」の断続音が鳴ります。
このとき、リモコンは以下の表示をします。

- リモコンの送信表示 【音「ブツ ブブブ」、LED表示無】
- リモコンのアンサー表示 【音「ピビピッピーピーツ」、LED橙色3回点滅】

メモ

・CHECKスイッチを短く（1秒以下）押ししまうと、スイッチ操作待ち表示となります。スイッチ操作待ち表示が終了後にもう一度CHECKスイッチを長く押しして下さい。
10秒以内に操作が完了しない場合は設定出来ません。キーをOFFに戻し、ステップ1からやり直して下さい。10秒以上経過した場合のアンサーバック表示は、【音「ブーブー」、LED橙色2秒点灯】となります。



ステップ 3

30秒以内に次の操作を行います。

エンジンスターター本体からの断続音「フピツ フピツ…」開始から30秒以上経過してしまった場合は、エンジンスターター本体から「ピーピー」という音がして、その後の操作が無効になります。キーをOFFに戻しステップ1からやり直して下さい。

(1) LED威嚇機能を設定する場合。

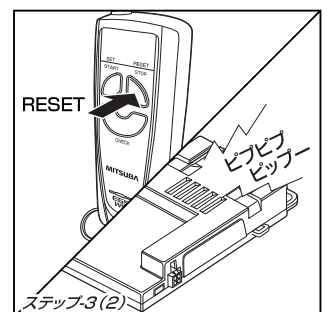
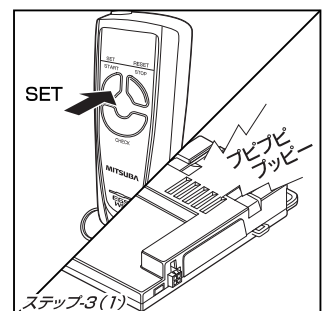
リモコンのSETスイッチを音「ピツピツ」が鳴るまで押します。

エンジンスターター本体から「ピビピッピー」という音がして、LED威嚇機能を設定したことを知らせ、鳴り止みます。

(2) LED威嚇機能を解除する場合。

リモコンのRESETスイッチを音「ブーピーツ」が鳴るまで押します。

エンジンスターター本体から「ピビピッピー」という音がして、LED威嚇機能の設定を解除したことを知らせ、鳴り止みます。



ステップ 4

キーをOFFにします。

以上でLED威嚇機能の設定/解除は終了です。

メモ

車のバッテリーを外したり車種別専用ハーネス（アース線）を外した場合には、再度設定する必要があります。

LED威嚇のセット方法

注意

- ・ターボタイマーによるアイドリング中を除き、エンジンをかけているときは、LED威嚇をセットすることは出来ません。ただし、ターボタイマーによるアイドリング中にセットした場合は、アイドリング終了後に威嚇表示を開始します。（ターボタイマーによるアイドリング中にキーをONにして走行状態にしてしまうとキャンセルとなり、エンジン停止後に威嚇表示はしません。）
- ・アンテナユニットのモードスイッチ2番がON（ブザー音・LED表示しない）になっていると、LED威嚇状態を表示することは出来ません。

ステップ 1

リモコンのSETスイッチを押します。

リモコンのロッドアンテナを最後まで引き出して、送信音「ピッピッ」が鳴るまでSETスイッチを押します。それから約1秒後にアンサーバック表示【音:「ピッピッ」、LED緑色1回点滅】をします。



ステップ 2

アンテナユニットが威嚇表示をします。

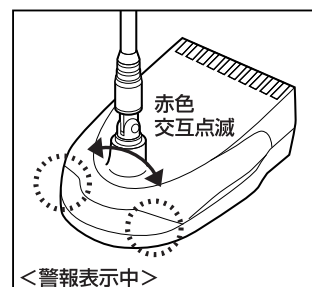
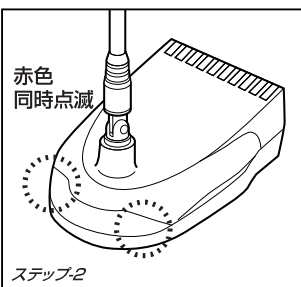
アンテナユニットのLED表示部にある左右の赤色LEDが2秒ごとに短く同時点滅します。

メモ

LED威嚇表示をセットした状態で、リモコンまたはキーでエンジンを始動すると、リセットされ、威嚇表示は停止します。

威嚇表示中の警報表示機能

- ・安全センサーケーブルのドア配線をしている場合は、威嚇表示中にリセット操作をせずドアを開けると、LED表示部の赤色LEDが0.5秒ごとに交互点滅をします。
- ・別売ボンネットスイッチを取り付けた場合も同様に、リセット操作せずボンネットを開けると警報表示をします。
- ・警報表示は、25～30秒で自動停止し、その後は威嚇表示となります。このときドアまたはボンネットが開いたままであっても威嚇表示に戻り、一旦閉めた後リセットせずに開けるとふたたび警報表示となります。
- ・警報表示は、リモコンでリセット送信またはキーをONにすると停止し、リセット状態となります。
- ・警報表示中は、リモコンによるエンジン始動操作をしても【音「ブーピーブーピーブーピー」、LED緑色と赤色交互に3回点滅】表示がされ操作が出来ません。



LED威嚇のリセット方法

ステップ 1

リモコンのRESETスイッチを押します。

リモコンのロッドアンテナを引き出して、送信音「ブーピーッ」が鳴るまでRESETスイッチを押します。それから約1秒後にアンサーバック表示【音:「ブーピーッ」、LED赤色1回点滅】をします。

メモ

リモコンまたはキーによるエンジン始動を行うとリセットすること出来ます。

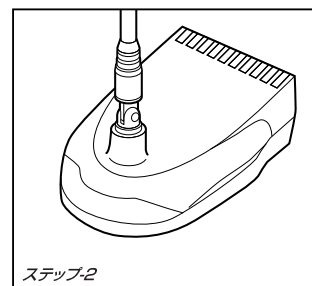
ステップ 2

アンテナユニットの威嚇表示が停止します。

2秒ごとに短く点滅していたアンテナユニットの赤色LED表示が消え、リセットされたことを知らせます。

メモ

「キーレスアダプターシリーズ」(別売)を取り付けている場合は、同時にドアをUNLOCKします。



オートアンサーバック機能について

本機のアンサーバックの初期設定は、シンプルアンサーバック方式のみとなっています。シンプルアンサーバック方式とは、リモコンの電波をアンテナユニットが受信したことをすばやくリモコンにお知らせする機能です。オートアンサーバック機能を設定するとエンジン始動が完了したことを自動で確認出来ます。

メモ ・オートアンサーバックを設定した場合、リモコンの電池寿命が短くなります。(使用状況にもよりますが、約半分となります。)

オートアンサーバックの設定/解除方法

注意 切り替えを行う場合は、リモコンの不用意な操作によりエンジン始動しないよう、アンテナユニットのパワースイッチを一旦切ってから行うようにして下さい。

ステップ 1

リモコンのCHECKスイッチとSTOPスイッチを同時に長く(1秒以上)押します。

このときリモコンは10秒の間、以下の通りに現在設定されている状態を表示します。

- オートアンサーバックが設定されていない場合
【音「ピピッ ピピッ…」、LED緑色点滅】
- オートアンサーバックが設定されている場合
【音「ピッピッピッピッ ピッピッピッピッ…」、LED緑色点滅】



ステップ 2

10秒以内にCHECKスイッチを短く(1秒以下)押して設定・解除を選択します。

10秒以内に操作しないと設定は出来ません。ステップ1からやり直して下さい。

(1)オートアンサーバックを設定する場合。

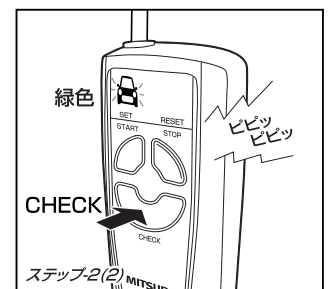
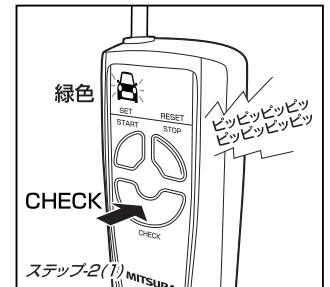
CHECKスイッチを短く(1秒以下)押して、リモコンの音が必ず「ピッピッピッピッ ピッピッピッピッ…」の4連音状態にして下さい。

このときCHECKスイッチは押すごとに4連音と2連音が交互に切り替わりますがLED表示は切り替わりません。

(2)オートアンサーバックを解除する場合。

CHECKスイッチを短く(1秒以下)押して、リモコンの音が必ず「ピピッ ピピッ…」の2連音状態にして下さい。

このときCHECKスイッチは押すごとに4連音と2連音が交互に切り替わりますがLED表示は切り替わりません。



ステップ 3

CHECKスイッチ操作後10秒以内にSTOPスイッチを長く(1秒以上)押します。

リモコンのブザー音状態を確認してから、STOPスイッチを長く押すと、リモコンから音「ビビビビビッ」が鳴り設定されたことを知らせ、鳴り止めLEDも消灯します。

メモ 10秒以内に操作しないと設定は出来ません。ステップ1からやり直して下さい。

以上でオートアンサーバックの設定/解除は終了です。

アンテナユニットのパワースイッチをONにして下さい。



オートアンサーバック機能について

オートアンサーバック設定時のエンジン始動方法

注意

- ・オートアンサーバックを設定していても、リモコンによるエンジン始動の操作方法は変わりません。必ず、11ページの「リモコンでエンジン始動」をよく読んでから行って下さい。
- ・リモコンのアンテナは、アイドリング中のアンサーバック表示がされるまで引き出した状態にして下さい。
- ・エンジンが一度で始動せずリトライ動作となった場合は、アイドリング中のアンサーバック表示をしません。
- ・グロー時間を6秒または9秒に設定した場合、アイドリング中のアンサーバック表示をしないことがあります。
- ・しばらくしてもアイドリング中のアンサーバック表示がされない場合は、リモコンのCHECKスイッチを長く（1秒以上）押して確認して下さい。詳しくは13ページの「リモコンでエンジン状態を確認するとき」を参照して下さい。

ステップ 1

リモコンのCHECKスイッチを短く（1秒以内）押してからSTARTスイッチを押して下さい。

11ページ「リモコンでエンジン始動」のステップ1からステップ3までを行い、STARTスイッチ操作後のアンサーバック表示【音「ピピッ」*、LED緑色1回点滅】を確認して下さい。

メモ

*メロディ設定時は「ピロピロピロピロピ」になります。

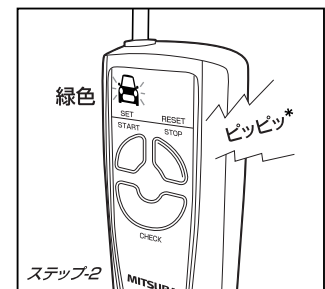
ステップ 2

リモコンがオートアンサーバックの待ち受け表示をします。

STARTスイッチ操作後のシンプルアンサーバック表示から3秒後にオートアンサーバック待ち受け表示【音「ピッピッ」*、LED緑色2回点滅】がされます。

メモ

*メロディ設定時は「ドミソソソソ」になります。



ステップ 3

しばらくするとアイドリング中（始動完了）のアンサーバックを表示します。

オートアンサーバック待ち受け表示をしてからしばらく（約3秒から15秒程度）すると、アイドリング中（始動完了）のアンサーバック表示【音「ピッピッピッピッ」*、LED緑色2秒点灯】をし、エンジン始動が完了したことを知らせます。

メモ

*メロディ設定時は「ドミソシレファラド」になります。



ステップ 4

走行します。

車のキーを差し込み、ONの位置まで回して下さい。あとは通常通り走行出来ます。なお、ドアスイッチへの配線を行っている場合、ドアを開けるとエンジンは停止しますので、キーにて再度エンジン始動して下さい。



警告

キーを回す際に、誤ってSTART (STT) の位置まで回すとスターターモーターを傷める場合があります。

リモコン電子音の切替

本機のリモコンは、電子音（ブザー音）の一部をメロディに変えることができます。メロディは以下の5種類となります。取り付け時（初期状態）の設定はブザー音となっています。

	ブザー音	メロディ音
START送信音（アンサー表示含む）	ピピッ	→ ♪ピロピロピロピロピ
エンジン始動中アンサー表示音	ピッピッ	→ ♪ドミソソソソ
アイドリング中（始動完了）アンサー表示音	ピッピッピッピッ	→ ♪ドミソシレファラド
STOP送信音（アンサー表示含む）	ピーッ	→ ♪ポロポロポロポロポ
エンジン停止中アンサー表示音	ピーピーッ	→ ♪ドラファレシソミド

リモコン電子音の切替方法

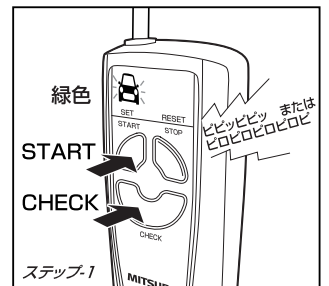
注意 切り替えを行う場合は、リモコンの不用意な操作によりエンジン始動しないよう、アンテナユニットのパワースイッチを一旦切ってから行うようにして下さい。

ステップ 1

リモコンのCHECKスイッチとSTARTスイッチを同時に長く（1秒以上）押します。

このときリモコンは10秒の間以下の通りに現在設定されている状態を表示します。

- ブザー音に設定されている場合【音「ピピッ ピピッ…」、LED緑色点滅】
- メロディに設定されている場合【音「ピロピロピロピロピ ピロピロピロピロピ…」、LED緑色点滅】



ステップ 2

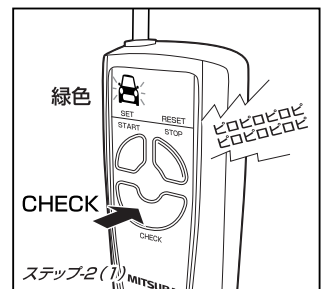
10秒以内にリモコンのCHECKスイッチを短く（1秒以下）押して設定・解除を選択します。

メモ 10秒以内に操作しないと設定は出来ません。ステップ1からやり直して下さい。

(1)メロディに設定する場合。

CHECKスイッチを短く（1秒以下）押して、リモコンの音が必ず「ピロピロピロピロピ ピロピロピロピロピ…」のメロディ状態にして下さい。

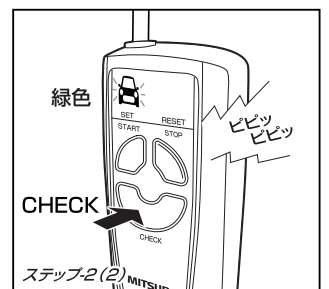
このときCHECKスイッチは押すごとにメロディ音とブザー音が交互に切り替わりますがLED表示は切り替わりません。



(2)ブザー音に設定する場合。

CHECKスイッチを短く（1秒以下）押して、リモコンの音が必ず「ピピッ ピピッ…」のブザー音状態にして下さい。

このときCHECKスイッチは押すごとにメロディ音とブザー音が交互に切り替わりますがLED表示は切り替わりません。

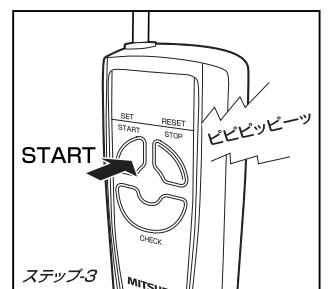


ステップ 3

CHECKスイッチ操作後10秒以内にSTARTスイッチを長く（1秒以上）押します。

リモコンの電子音状態を確認してから、STARTスイッチを長く押すと、リモコンから音「ビビビビピーッ」が鳴り設定されたことを知らせ、鳴り止めLEDも消灯します。

メモ 10秒以内に操作しないと設定は出来ません。ステップ1からやり直して下さい。



以上でリモコン電子音の切替は終了です。

アンテナユニットのパワースイッチをONにして下さい。

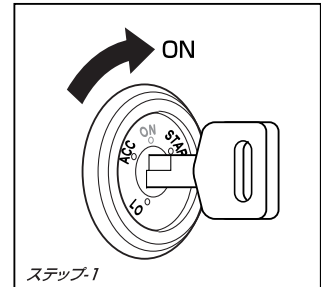
アイドリング時間の設定

本機は、リモコン始動のアイドリング時間を「5分/20分/30分」のいずれかに変更することができます。取り付け時(初期状態)のアイドリング時間は「20分」です。

ステップ
1

キーをONの位置にします。

メモ このとき、誤ってエンジンを始動させないで下さい。
以降の操作が出来ません。



ステップ
2

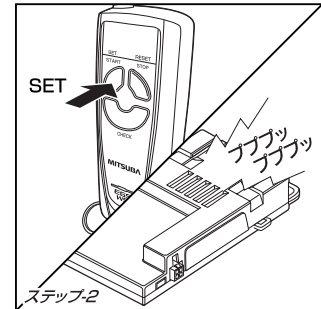
10秒以内にリモコンのSETスイッチを押します。

エンジンスターター本体から断続音「ププッ ププッ…」の3連音が鳴ります。このとき、リモコンは以下の表示をします。

リモコンの送信表示 【音「ピッピッ」、LED表示無】

リモコンのアンサー表示 【音「ピッピッ」、LED緑色1回点滅】

メモ 10秒以内に操作が完了しない場合は設定出来ません。
キーをOFFに戻し、ステップ1からやり直して下さい。
10秒以上経過した場合のアンサー表示は【音「ブーブー」、
LED橙色2秒点灯】となります。



ステップ
3

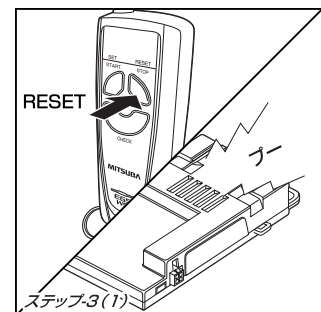
30秒以内に次の操作を行います。

エンジンスターター本体からの断続音「ププッ ププッ」開始から30秒以上経過してしまった場合は、エンジンスターター本体から「ピーピー」という警告音がして、その後の操作が無効になります。キーをOFFに戻しステップ1からやり直して下さい。

(1) 『5分』に設定する場合。

リモコンのRESETスイッチを押します。

エンジンスターター本体から「ブー」という音がして、5分が設定されたことを知らせ、鳴り止みます。

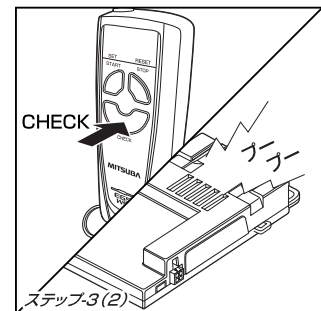


(2) 『20分』に設定する場合。

リモコンのCHECKスイッチを長く(1秒以上)押し
ます。

エンジンスターター本体から「ブーブー」という音がして、20分が設定されたことを知らせ、鳴り止みます。

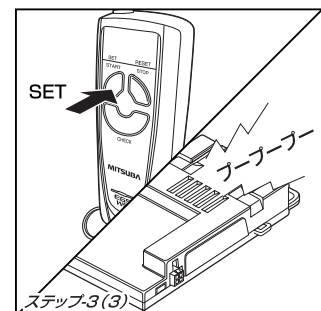
メモ CHECKスイッチを短く(1秒以内)押ししまうと、スイッチ操作待ち表示になってしまいます。この場合は、スイッチ操作待ち表示(約3秒)が終了してからCHECKスイッチを長く押し直して下さい。



(3) 『30分』に設定する場合。

リモコンのSETスイッチを押します。

エンジンスターター本体から「ブーブー」という音がして、30分が設定されたことを知らせ、鳴り止みます。



ステップ
4

キーをOFFにします。

以上でアイドリング時間の設定は終了です。

メモ 車のバッテリーを外したり車種別専用ハーネス(アース線)を外した場合には、再度設定する必要があります。

ターボタイマー機能について

ターボタイマーの設定/解除方法

取り付け時(初期状態)はターボタイマーの設定が解除されています。

ステップ 1

アンテナユニットのパワースイッチを切ります。

ステップ 2

アンテナユニットのモードスイッチ4番を切り替えます。

(1)ターボタイマーを設定する場合。

アンテナユニットの4番スイッチをONにします。

(2)ターボタイマーを解除する場合。

アンテナユニットの4番スイッチをOFFにします。

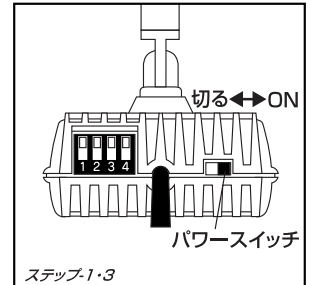
ステップ 3

アンテナユニットのパワースイッチをONにします。

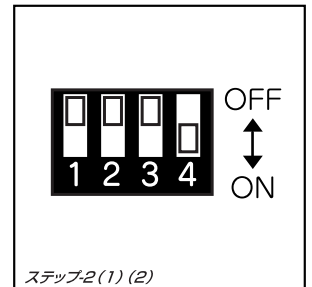
以上でターボタイマーの設定/解除は終了です。

注意

ターボタイマーを設定しておく、アンテナユニットとエンジンスターター本体をつなぐ接続コネクター部(CN5)を外した状態でも、ターボタイマーは動作しますが、リモコンによる停止が出来ませんので必ず接続した状態で使用して下さい。



ステップ-1・3



ステップ-2(1)(2)

ターボタイマーの使用方法

本機のターボタイマー機能は、フルオート方式を採用しています。
アフターアイドルの時間は、車の走行状況に合わせて自動的に設定されます。

ステップ 1

キーまたはリモコンで、エンジンを始動させます。

ステップ 2

走行します。

少なくとも30秒以上エンジンをかけると、ターボタイマーは作動しません。

ステップ 3

走行終了後、シフトレバーをPレンジにしてからキーをOFFにします。

エンジンスターター本体から「プッププッ」というカウントダウン音がして、ターボタイマーが作動を開始します。

警告

周囲の安全を確認の上、パーキングブレーキをしっかりとかけて下さい。
シフトレバーは、必ずPレンジにして下さい。

注意

ターボタイマーによるアイドル中は、エアコン(ヒーター)以外のスイッチをOFFにして下さい。リヤ熱線や大容量オーディオ等を併用されますと一部の車種ではハーネス接続部周辺が発熱し故障の原因となります。

- 車によってはターボタイマー作動中にキーが抜けない場合があります。
このような場合は、別売の「日産キーロックアダプター」をご使用下さい。
(中継ケーブルを使用しない車種にはご使用出来ません。)
- 車によっては正常にターボタイマーが作動しない場合があります。
このような場合は、別売の「ターボタイマーストール防止アダプター」をご使用下さい。
(中継ケーブルを使用しない車種にはご使用出来ません。)
- ターボタイマーのアイドル時間は30秒～5分の範囲で自動設定されます。

リモコンでターボタイマー停止

リモコン操作でターボタイマー作動中のエンジンを停止させることが出来ます。
詳しくは、12ページの「リモコンでエンジン停止」を参照して下さい。

ドアタイマー機能について

ドアスイッチ配線やボンネットスイッチ（別売）取り付けを行った場合に、ドアタイマー機能を設定することで、リモコン始動中にドアやボンネットを開けても、20秒間はエンジン始動を継続したままに出来ます。取り付け時（初期状態）はドアタイマーの設定が解除されています。



注意

イモビライザー搭載車では、ドアタイマーを設定しないで下さい。ドアタイマーを設定してリモコン始動させると、車両側イモビライザー機能に支障をきたし、盗難や事故の恐れがあります。

メモ

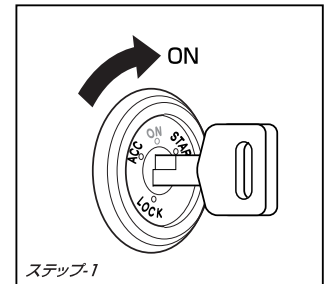
ドアタイマーを設定した場合、アンテナユニットのモードスイッチ2番がON（ブザー音・LED表示しない）となっても、ドアタイマー作動によるアイドリング中（20秒）のみエンジンスターター本体からカウントダウンのブザー音が鳴ります。

ステップ 1

キーをONの位置にします。

メモ

このとき、誤ってエンジンを始動させないで下さい。以降の操作が出来ません。



ステップ1

ステップ 2

リモコンのSETスイッチとRESETスイッチを同時に音「ピーッピッ」が鳴るまで押します。

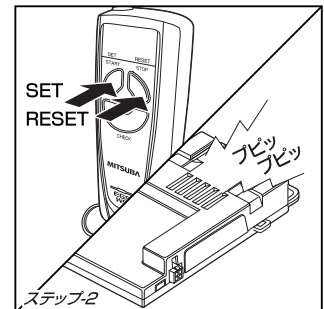
エンジンスターター本体から「ブピッ ブピッ…」の断続音が鳴ります。このとき、リモコンは以下の表示をします。

リモコンの送信表示 【音「ピーッピッ」、LED表示無】

リモコンのアンサー表示 【音「ピーッピッ」、LED同時に緑色1回点滅】

メモ

10秒以内に操作が完了しない場合は設定出来ません。キーをOFFに戻し、ステップ1からやり直して下さい。10秒以上経過した場合のアンサーバック表示は、【音「ブーブー」、LED橙色2秒点灯】となります。



ステップ2

ステップ 3

30秒以内に次の操作を行います。

エンジンスターター本体からの断続音「ブピッ ブピッ…」開始から30秒以上経過してしまった場合は、エンジンスターター本体から「ピーピー」という音がして、その後の操作が無効になります。キーをOFFに戻しステップ1からやり直して下さい。

(1)ドアタイマーを設定する場合。

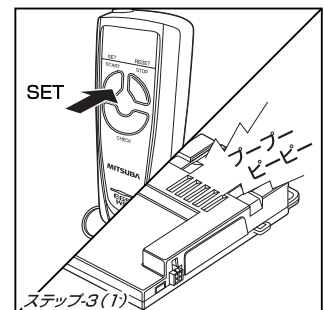
リモコンのSETスイッチを音「ピッピッ」が鳴るまで押します。

エンジンスターター本体から「ブーブーピーピー」という音がして、ドアタイマーを設定したことを知らせ、鳴り止みます。

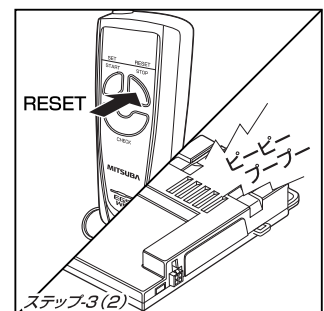
(2)ドアタイマーを解除する場合。

リモコンのRESETスイッチを音「ブーピーッ」が鳴るまで押します。

エンジンスターター本体から「ピーピーブーブー」という音がして、ドアタイマーの設定を解除したことを知らせ、鳴り止みます。



ステップ3(1)



ステップ3(2)

ステップ 4

キーをOFFにします。

以上でドアタイマーの設定/解除は終了です。

メモ

車のバッテリーを外したり車種別専用ハーネス（アース線）を外した場合には、再度設定する必要があります。

アンテナユニットとエンジンスターター本体の表示有無切替

本機によるアイドリング中のアンテナユニットLED表示とエンジンスターター本体のブザー音を表示しないようにすることも出来ます。取り付け時(初期状態)は表示有となっております。

注意 通常はアンテナユニットとエンジンスターターの表示は有の状態で使用して下さい。表示無の状態で使用した場合は、使用者にキー以外でアイドリングしていることを知らせることが出来なくなります。

ステップ 1 アンテナユニットのパワースイッチを切ります。

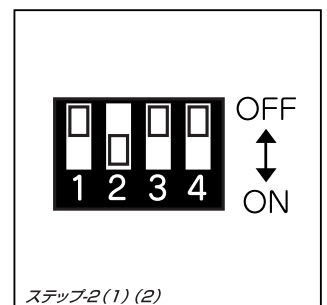
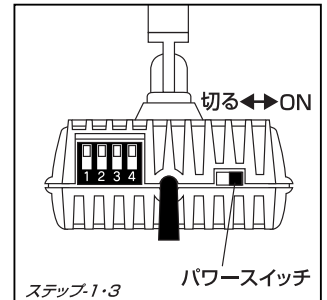
ステップ 2 アンテナユニットのモードスイッチ2番を切り替えます。

(1) 表示有にする場合
アンテナユニットの2番スイッチをOFFにします。

(2) 表示無にする場合
アンテナユニットの2番スイッチをONにします。

ステップ 3 アンテナユニットのパワースイッチをONにします。

以上でアンテナユニットとエンジンスターター本体の表示切替は終了です。



スリープ機能について

車を使用しない状態が15日間以上続くと、バッテリーの消耗を抑えるスリープ機能が働きます。スリープ機能が働くと、リモコンによるエンジン始動は出来ません。スリープ機能を解除するときは、パワースイッチを一度切って入れ直すか、キーを使ってエンジンを始動させて下さい。

本機の電源を切るときは

車を車検・整備に出すときや、旅行等により長期間使用しない場合は安全のため、アンテナユニットのパワースイッチを切って下さい。本機はメモリー機能により、次回お使いになる際も再度オートマチック車の登録やターボタイマーの設定等は必要ありません。パワースイッチをONにするだけでスイッチを切る前と同じ状態で使用出来ます。

メモ 車種別専用ハーネスを外したり、整備の際に車のバッテリー端子を外した場合は、再度オートマチック車の登録からやり直す必要があります。

L端子検出方式への変更

ステップ1 アンテナユニットのパワースイッチを切ります。

注意 すでに付属の安全センサーケーブルがエンジンスターター本体に接続されている場合は、一旦外してから作業を行って下さい。安全センサーケーブルは、必ず本機に同梱されたものを使用して下さい。他の商品のもを流用することは出来ません。

ステップ2 車のオルタネーターから出ているL端子線を探します。

L端子線とは、イグニッションONの位置でエンジンが停止しているとき、約1~3V、エンジンが駆動しているとき、約12~14Vになる線です。(必ずテスターをご使用下さい。)

ステップ3 安全センサーケーブルの灰色線を接続します。

安全センサーケーブルの灰色線をグロメット等を利用して、車室内からエンジンルーム内に引き込み、オルタネーターから出ているL端子線に接続します。(付属のエレクトロタップ使用。)



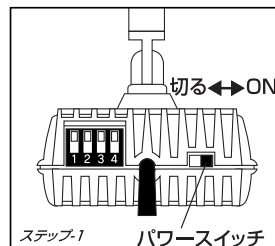
警告

接触不良が起きないように確実に取り付けて下さい。なお、エレクトロタップは防水のためテーピングして下さい。灰色線が車体の金属部分に触れると、ショートを起こし車両故障の原因となる恐れがあります。

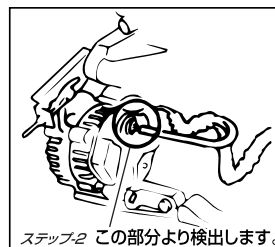
ステップ4 安全センサーケーブルをエンジンスターター本体のコネクタ部(CN2)に接続します。

以上でL端子配線は終了です。

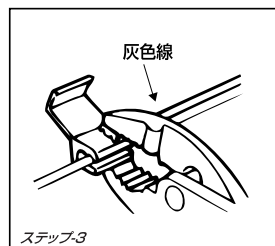
アンテナユニットのパワースイッチをONにしてリモコンで問題なくエンジン始動出来ることを確認して下さい。



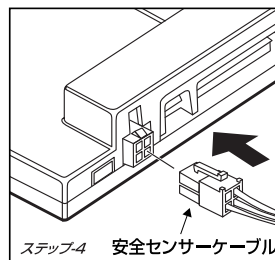
ステップ1 パワースイッチ



ステップ2 この部分より検出します。



ステップ3



ステップ4 安全センサーケーブル

始動検出方式の切替

エンジンは始動していないのにメーターパネルが点灯したままになってしまう場合は、「L端子検出方式への変更」を行ってから始動検出方式を特殊モードに切り替えて下さい。

注意 必ず「L端子検出方式への変更」を行ってから変更して下さい。始動検出方式を特殊モードへ切り替えた場合は、「キー始動学習機能の設定」を行ってもスターターモーターの駆動時間は学習されません。

ステップ1 アンテナユニットのパワースイッチを切ります。

ステップ2 アンテナユニットのモードスイッチ3番を切り替えます。

(1)通常モードに設定する場合。

アンテナユニットの3番スイッチをOFFにします。

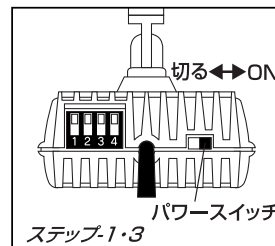
(2)特殊モードに設定する場合。

アンテナユニットの3番スイッチをONにします。

ステップ3 アンテナユニットのパワースイッチをONにします。

以上で始動検出方式の切替は終了です。

リモコンで問題なくエンジン始動出来ることを確認して下さい。



ステップ1-3



ステップ2(1)(2)

グロー時間の切替

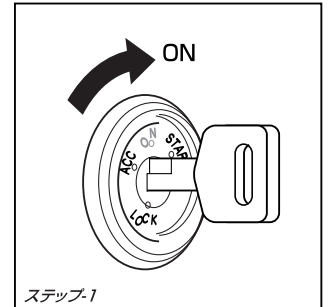
一部のディーゼル車等で、グロー(予熱時間)が必要な場合、以下の操作を行うことでグローを設定することができます。グロー時間は3秒、6秒、9秒から選択出来ます。取り付け時(初期状態)のグロー時間は3秒です。

メモ グロー時間とは、イグニッションキーをONにしてからスターターモーターを回す前までの時間のことです。ガソリン車では通常3秒(初期状態)でご使用下さい。

ステップ 1

キーをONの位置にします。

メモ このとき、誤ってエンジンを始動させないで下さい。以降の操作が出来ません。



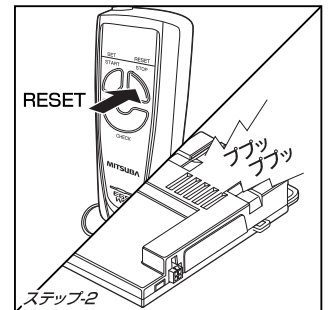
ステップ-1

ステップ 2

10秒以内にリモコンのRESETスイッチを押します。

エンジンスターター本体から断続音「ブツ ブツ…」の2連音が鳴ります。このとき、リモコンは以下の表示をします。

リモコンの送信表示 【音「ブーピーツ」、LED表示無】
 リモコンのアンサー表示 【音「ブーピーツ」、LED赤色1回点滅】



ステップ-2

メモ 10秒以内に操作が完了しない場合は設定出来ません。キーをOFFに戻し、ステップ1からやり直して下さい。10秒以上経過した場合のアンサー表示は、【音「ブーブー」、LED橙色2秒点滅】となります。

ステップ 3

30秒以内に次の操作を行います。

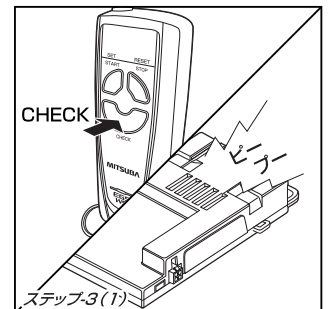
エンジンスターター本体からの断続音「ブツ ブツ…」開始から30秒以上経過してしまった場合は、エンジンスターター本体から「ピーピー」という警告音がして、グロー時間が3秒に設定されます。

(1)グロー時間を6秒にする場合。

リモコンのCHECKスイッチを音「プッ プププ」が鳴るまで長く押します。

エンジンスターター本体から「ピーピー」という音がして、グロー時間を6秒に設定したことを知らせ、鳴り止みます。

メモ CHECKスイッチを短く(1秒以内)押ししまうと、スイッチ操作待ち表示となってしまいます。この場合は、スイッチ操作待ち表示(約3秒)が終了してからCHECKスイッチを長く押し直して下さい。

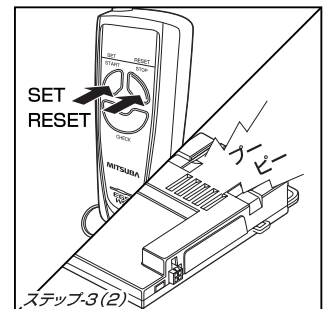


ステップ-3(1)

(2)グロー時間を9秒にする場合。

リモコンのSETスイッチとRESETスイッチを同時に音「ピーツピツ」が鳴るまで押します。

エンジンスターター本体から「ブーピー」という音がして、グロー時間を9秒に設定したことを知らせ、鳴り止みます。

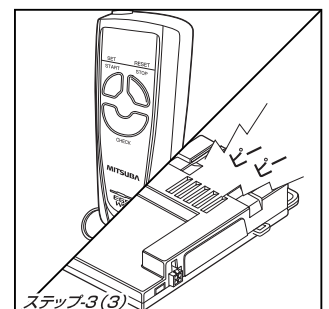


ステップ-3(2)

(3)グロー時間を3秒にする場合。

30秒間そのまま放置します。

エンジンスターター本体から「ピーピー」という音がして、グロー時間を3秒に設定したことを知らせ、鳴り止みます。



ステップ-3(3)

ステップ 4

キーをOFFにします。

以上でグロー時間の切替は終了です。

メモ 車のバッテリーを外したり車種別専用ハーネス(アース線)を外した場合には、再度設定する必要があります。

ドアスイッチ配線を行う場合

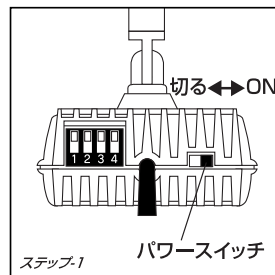
ドアスイッチへの配線を行うことにより、リモコン始動でのアイドリング中に、ドアを開けるとエンジンを停止させることができます。なお、ドアタイマーを設定している場合は、20秒後にエンジンが停止します。詳しくは、21ページの「ドアタイマー機能について」を参照して下さい。

ステップ 1

アンテナユニットのパワースwitchを切ります。

注意

すでに付属の安全センサーケーブルがエンジンスターター本体に接続されている場合は、一旦外してから作業を行って下さい。安全センサーケーブルは、必ず本機に同梱されたものを使用して下さい。他の商品のものを流用することは出来ません。



ステップ1

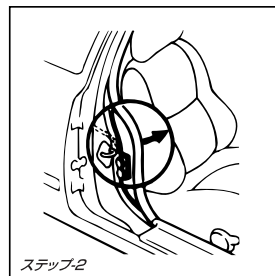
ステップ 2

車の運転席側ドアスイッチ線を探します。

ドアを開けたときは0V、閉めたときに5~12Vとなる線です。(必ずテスターをご使用下さい。)

メモ

半ドア警告灯およびルームランプの点灯をさせるためのスイッチです。全てのドアを検出させる場合は、下記「全席ドアを検出させる場合の配線方法」を参照して下さい。



ステップ2

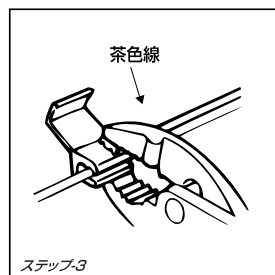
ステップ 3

安全センサーケーブルの茶色線を接続します。

安全センサーケーブルの茶色線先端のギボシ端子部をニッパ等でカットし、ステップ2で見つけた線に接続します。(付属のエレクトロタップ使用。)

注意

接触不良が起きないように確実に取り付けて下さい。ドアスイッチ検出がうまく行われない場合があります。なお、エレクトロタップ部は、防水のためテーピングをして下さい。



ステップ3

ステップ 4

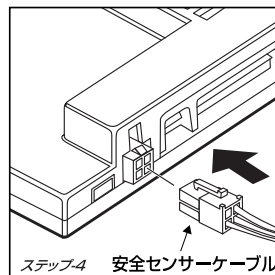
安全センサーケーブルをエンジンスターター本体のコネクター部(CN2)に接続します。

以上でドアスイッチ配線は終了です。

アンテナユニットのパワースwitchをONにしてリモコンでエンジンを始動させ、ドアを開けたときにエンジンが停止することを確認して下さい。

メモ

残光式ルームランプ付車では、ドアを閉めてルームランプが完全に消えてから数秒後にリモコン始動を行って下さい。



ステップ4

全席ドアを検出させる場合の配線方法

全席ドアを検出させる場合には、下記に従い追加配線を行って下さい。全席ドア検出配線には、エレクトロタップ・ダイオードユニット・延長コードが別途必要となります。なお、ダイオードユニット・エレクトロタップは、お近くのカーショップ等で必要な分をお買い求め下さい。

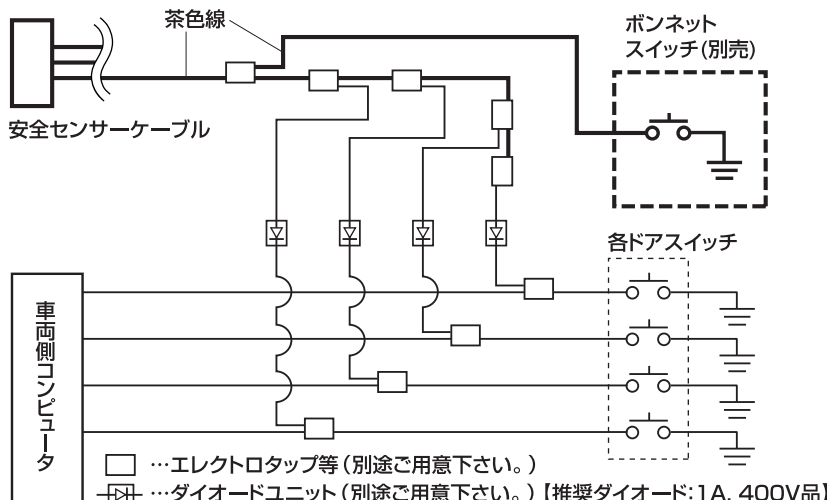
- ① 運転席ドアスイッチ線を探す要領で、他のドアスイッチ線を探します。
- ② 別途ご用意したダイオードユニットとリード線で①で探した線に別途ご用意したエレクトロタップ等でそれぞれ接続します。
- ③ 配線した各ダイオードユニットを安全センサーケーブルの茶色線に別途ご用意したエレクトロタップ等でそれぞれ接続します。

注意

接触不良が起きないように確実に取り付けて下さい。

またダイオードユニットの向きを間違えないように配線して下さい。検出がうまく行われない場合があります。接続部は、防水のためテーピングをして下さい。

■全席ドア検出接続概念図■



オプション

ボンネットスイッチ（別売）を取り付ける場合

ボンネットスイッチ(別売)の取り付けを行うことにより、ボンネットが開いているときのリモコンでのエンジン始動が出来なくなり、エンジンルーム内での各種作業中の安全を確保出来ます。出来るだけボンネットスイッチの取り付けを行って下さい。取り付けに関しては、ボンネットスイッチに付属の取扱説明書をよくお読み下さい。

ボンネットスイッチ(別売)取り付けとドアスイッチ配線の両方を行う場合

ボンネットスイッチ(別売)取り付けとドアスイッチ配線の両方を行うことで、ボンネットが開いたり、ドアが開いたりしているときは、エンジンが動作しないよう安全確保が出来るようになります。

注意 安全センサーケーブルの茶色線は、ボンネットスイッチとドアスイッチの検出を併用するようになっております。両方を配線する場合には別途エレクトロタップ*を1個ご用意頂くこととなりますので、あらかじめお買い求め下さい。*【推奨品:自動車用低電圧線(AV線)0.5mm²サイズ適応品】

ステップ1 車の運転席側ドアスイッチ配線をして下さい。

25ページの「ドアスイッチ配線を行う場合」の作業をステップ3まで行った後、以下の作業を行って下さい。

ステップ2 ボンネットスイッチを取り付けます。

ボンネットスイッチ付属の取扱説明書をよく読み、エンジンルーム内のボンネットスイッチ設置・取り付け作業まで行って下さい。

ステップ3 安全センサーケーブルの茶色線を接続します。

ボンネットスイッチの茶色線をグロメット等を利用してエンジンルーム内から車室内へ引き込み、先端のギボン端子部をニッパ等でカットします。すでにドアスイッチ配線をした安全センサーケーブルの茶色線にご用意頂いたエレクトロタップ等で接続します。

注意 接触不良が起きないように確実に取り付けて下さい。ボンネットスイッチ検出がうまく行われない場合があります。なお、エレクトロタップ部は、防水のためテーピングをして下さい。

ステップ4 安全センサーケーブルをエンジンスターター本体のコネクター部(CN2)に接続します。

以上でボンネットスイッチとドアスイッチ配線作業は終了です。

アンテナユニットのパワースイッチをONにして、リモコンでエンジンを始動させ、ドアを開けたときおよびボンネットを開けたときにエンジンが停止することを確認して下さい。

注意 ・ボンネットスイッチとドアスイッチ配線を併用した場合、ボンネットを開けると、半ドア警告灯およびルームランプが点灯するようになります。これは本機が車側の安全検出を行う回路により点灯するものであり、異常ではありません。
・整備等で長時間ボンネットを開けたままにする場合にはルームランプのスイッチを切して下さい。

キー始動学習機能の設定

次のような場合には、キー始動学習機能を設定して下さい。

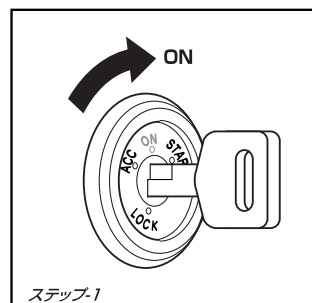
- リモコン始動時にABS警告灯が点灯したままになってしまう。
- スターターモーター駆動時間が短すぎてエンジンがかかりにくい。

注意 始動検出方法を特殊モードに設定している場合は、スターターモーターの駆動時間を学習することは出来ません。

ステップ1 キーをONの位置にします。

メモ このとき、誤ってエンジンを始動させないで下さい。以降の操作が出来ません。

次のページへ進んで下さい。



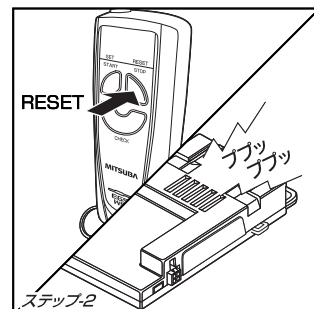
キー始動学習機能の設定(つづき)

ステップ
2

10秒以内にリモコンのRESETスイッチを押します。
エンジンスターター本体から断続音「ブッ ブッ…」の2連音が鳴ります。
このとき、リモコンは以下の表示をします。

リモコンの送信表示 【音「ブーピーツ」、LED表示無】
リモコンのアンサー表示 【音「ブーピーツ」、LED赤色1回点滅】

メモ 10秒以内に操作が完了しない場合は設定出来ません。
キーをOFFに戻し、ステップ1からやり直して下さい。
10秒以上経過した場合のアンサー表示は、
【音「ブーブー」、LED橙色2秒点滅】となります。

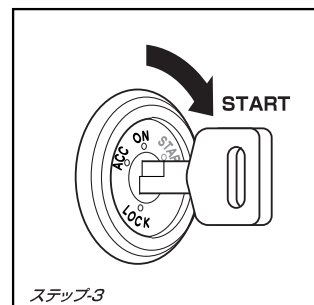


ステップ
3

30秒以内にキー操作でエンジンを始動します。

エンジンスターター本体から「ブブブー」と音が鳴りキー始動学習が行われたことを知らせ、鳴り止みます。このときにスターターモーター駆動時間を「0.8～3秒」の範囲で学習し、以降リモコン始動時のスターターモーター駆動時間になります。よって、通常使用時と同一環境下で学習操作を行うと効果的です。

メモ 30秒以内に操作が完了しない場合は設定出来ません。
キーをOFFに戻し、ステップ1からやり直して下さい。
なお30秒経過した場合は、エンジンスターター本体から「ピーピー」という音がして、グロー時間が3秒に設定されますので注意して下さい。
詳しくは、24ページの「グロー時間の切替」を参照して下さい。



ステップ
4

キーをOFFにします。

以上でキー始動学習機能の設定は終了です。

リモコンで問題なくエンジン始動出来ることを確認して下さい。

メモ 車のバッテリーを外したり車種別専用ハーネス（アース線）を外した場合には、再度設定する必要があります。

オプション品(別売)のご案内

「適応車種一覧表・EGSシリーズ」をよく確認の上、必要に応じてオプション品(別売)をご使用下さい。

● **ボンネットスイッチ**

車のボンネットが開いているときに、リモコンでのエンジン始動を出来なくする安全装置です。

● **オートライトアダプター**

オートライト装着車の一部車種で、ライトポジションがオート状態のままでも問題なく使用出来るようになります。

● **日産キーロックアダプター**

一部の車種でターボタイマーの作動中、キーが抜けなくなるのを防止します。
(中継ケーブルを使用しない車種にはご使用出来ません。)

● **キーレスアダプターシリーズ**

本機のリモコン操作でドアのLOCK/UNLOCKが行えるようになります。必ず事前に「適応車種一覧表・EGSシリーズ」を確認して下さい。

● **イモビアダプター**

一部のイモビライザー搭載車で、イモビライザー機能を損なわずエンジンスターターを取り付けることが出来るようになります。

● **ターボタイマーストール防止アダプター**

一部の車種でキーをOFFにし、ターボタイマーを作動させる際、インジケーターランプが一瞬点灯または点灯したままとなったり、エンジンがストール(停止)してしまうのを防止します。
(中継ケーブルを使用しない車種にはご使用出来ません。)

本機のリモコンでオプション品(別売)を操作する場合

キーレスアダプターなどのオプション品(別売)は、本機のリモコンのSETスイッチとRESETスイッチで操作出来ます。SETおよびRESETスイッチは必ず操作音がするまで単独で押して下さい。RESETスイッチは他のスイッチよりすこし押しにくい構造となっています。

■各操作の一例

スイッチ操作	送信表示/アンサーバック表示		オプション品(別売)動作
	送信時	アンサーバック時	
SET操作時	音: ピッピピッ LED表示: 表示なし	音: ピッピピッ LED表示: LED緑色1回点滅	キーレスアダプター: LOCK
RESET操作時	音: ブーピーツ LED表示: 表示なし	音: ブーピーツ LED表示: LED赤色1回点滅	キーレスアダプター: UNLOCK

本機のLED威嚇機能を設定している場合は、キーレスアダプターと連動して動作します。
LED威嚇機能については、14～15ページの「LED威嚇機能について」を参照して下さい。

メモ キーがONの位置になっているときは、リモコンによるスイッチ操作は受け付けません。また、アンテナユニットのパワースイッチを切っているときや、スリープ機能が働いているときも、リモコンスイッチ操作は受け付けません。

オプション品(別売)接続時の注意事項

一部のオプション品取り付け作業において、エンジンスターター本体のリッドを外す必要があります。オプション品に付属の取り扱い説明書および下記の事項をよく読んでから作業して下さい。

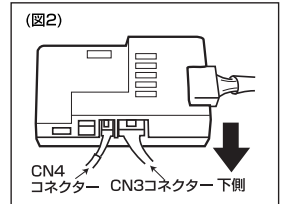
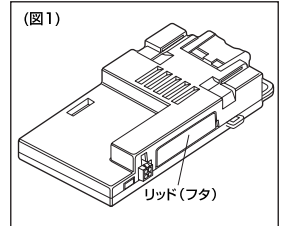


警告

●オプション品を取り付ける場合、エンジンスターター本体のリッドを外す必要があります(図1)。それ以外では絶対に外さないで下さい。必ずエンジンスターター本体のコネクター部(CN1)を外してからリッドを外して下さい。そのまま作業すると、電源ショート等により故障したり発火する恐れがあります。

●リッドの取り外しは精密ドライバー等で端からはがすように行って下さい。その際ケガをしないように十分注意して行って下さい。

●リッドを外してオプション品を取り付けた後、エンジンスターター本体を設置する場合は、CN3、CN4コネクタ面が必ず下を向くようにし、異物が入らないようにして下さい(図2)。



メンテナンス

電池の交換方法

リモコンは新品の電池で約1500回*以上使用出来るように設計されております。使用中、電波到達距離が短くなってきたら電池を交換して下さい。また、商品に添付されている電池はテスト用のものですので、1500回以内に電池交換が必要になる場合があります。

*使用状況や環境、リモコンの設定状態によっては、これよりも短くなります。

ステップ 1

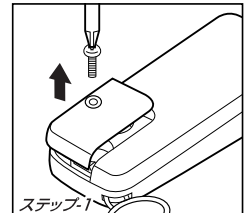
電池蓋を外します。

精密プラスドライバーでネジを外して電池蓋を開けます。



注意

外す際に、リモコン内部を損傷させたり、パッキンをはがしたりしないよう注意して下さい。



ステップ 2

電池を交換します。(アルカリボタン電池LR44×2個)

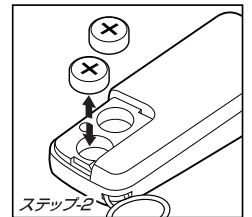
電池のプラス、マイナスの向きに注意して交換して下さい。

電池のプラス面が蓋側となります。



注意

- ・電池を交換の際は、2個とも新品の電池に交換して下さい。
- ・リモコンの電池端子部をさわったりしないで下さい。
- ・電池の表面に汚れや油分がつかないようにして下さい。



ステップ 3

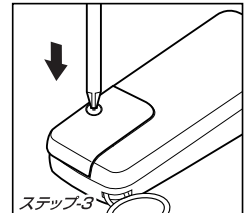
電池蓋を閉じます。

外したときと逆の要領で電池蓋を閉じます。



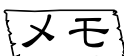
注意

- ・ネジを締めるときは、締めすぎたり、緩まないようきちんと締めて下さい。部品の紛失や損傷の原因となります。
- ・リモコン内部を損傷させたり、異物を入れたりしないで下さい。故障の原因となります。



リモコンを紛失したときは

リモコンを紛失または修理不可能な破損をした場合は、リモコンのみの購入が出来ます。新しいリモコンは、販売店または取扱店へご注文下さい。



リモコンのID登録はエンジンスターター本体側の操作で行います。従ってアンテナユニットやエンジンスターター本体をお送り頂く必要はありません。なお、登録出来るリモコンは1台分のみとなりますので、元のリモコンは使用出来なくなります。(スペアリモコンとしての設定は出来ません。これは2003年12月26日付国土交通省発表の安全対策についての指導に基づいています。)

故障かな?と思ったら

このような時	チェックして下さい	処 置
リモコンのスイッチ操作をしても送信表示しない。	・スイッチ操作は間違っていないですか? ・リモコンの電池は消耗していませんか?	・本書に従い正しく操作して下さい。 ・電池を新品に交換して下さい。
リモコンのスイッチ操作をしてもエンジンスタート本体が作動しない。	・車のキーがONになっていませんか? ・バッテリー端子を外したり、バッテリー交換を行いましたか? ・ヒューズ交換、専用ハーネスとのカプラー脱着及び黒色アース線の再接続を行いましたか? ・15日以上エンジンの始動を行わない状態でしたか? ・ドア配線先は間違っていないですか? ・ドアまたはボンネットが開いていませんか?(配線を行った場合。) ・リモコンのアンサー表示がキャリアセンスによるNGになっていませんか?	・キーを抜いて下さい。 ・オートマチック車の登録情報が消去されています。再度「オートマチック車の登録」を行って下さい。(詳しくは、P.8~9を参照して下さい。) ・スリープモードになっています。パワースイッチを一旦切って入れ直すか、キー操作でエンジンを始動させて下さい。 ・適切な場所に接続し直して下さい。 ・ドアまたはボンネットを閉めて下さい。 ・キャリアセンスにより無線送信が出来ません。しばらくしてから操作して下さい。(詳しくは、P.30を参照して下さい。)
リモコンのSTART操作をするとメーターパネルは点灯するが始動しない。	・車のシフトレバーはPレンジになっていますか? ・車のバッテリーは弱っていませんか? ・専用ハーネスのアース線は車体の金属部分へ確実に接続されていますか? ・オルタネーター(L端子)配線先は間違っていないですか?	・シフトレバーをPレンジに入れて下さい。 ・バッテリーを点検し正常な状態にして下さい。 ・適切な場所に接続し直して下さい。 ・適切な場所に接続し直して下さい。
リモコンのSTART操作をすると始動動作を行うが、エンジンはかからない。	・オルタネーター(L端子)配線を行いましたか? ・オルタネーター(L端子)配線先は間違っていないですか? ・専用ハーネスのアース線は車体の金属部分へ確実に接続されていますか?	・オルタネーター(L端子)配線を行って下さい。(詳しくはP.23を参照してください。) ・適切な場所に接続し直して下さい。 ・適切な場所に接続し直して下さい。
リモコンのSTART操作をすると始動動作中にエンジンスタート本体から「ピーピーピーッ」と音がして停止してしまう。	・専用ハーネスのアース線は車体の金属部分へ確実に接続されていますか? ・車のバッテリーは弱っていませんか?	・適切な場所に接続し直して下さい。 ・バッテリーを点検し正常な状態にして下さい。
アンテナユニットのパワースイッチをONにしても本体の電源が入らない。	・ヒューズが切れていませんか? ・専用ハーネスのカプラーまたは黒色アース線が外れていませんか?	・ヒューズを交換して下さい。 ・確実に接続して下さい。
電波到達距離が短くなった。	・リモコンの電池は消耗していませんか? ・リモコンのアンテナは伸ばしてありますか? ・リモコンのアンテナに体の一部が触れていませんか?	・電池を新品に交換して下さい。 ・リモコンのアンテナを伸ばして下さい。 ・操作の際はアンテナに触れないようにして下さい。
ターボタイマーが作動しない。	・車のシフトレバーはPレンジになっていますか? ・ターボタイマーの設定を行っていますか? ・エンジンを30秒以上かけましたか?	・シフトレバーをPレンジに入れて下さい。 ・ターボタイマーの設定をして下さい。 ・30秒以上かけて下さい。
リモコンのSTART操作をしてもエンジンが始動せず、警告音「ピー・ピー…」が鳴り続ける。	・車のシフトレバーはPレンジになっていますか? ・車のキーがACCになっていませんか? ・専用ハーネスの品番は正しいですか?	・シフトレバーをPレンジに入れて下さい。 ・キーを抜いて下さい。 ・「適応車種一覧表・EGSシリーズ」を再度確認して下さい。車の車種名・年式・型式を照合後、品番が正しい場合は当社技術サービスまでお問い合わせ下さい。 ★警告音はキーをONにすれば停止します。

リモコンの電子音とLED表示について

(ターボタイマー設定、アイドリング時間変更等、各種設定時の操作を除く。)

♪=メロディ設定時の電子音…設定方法については、18ページの「リモコン電子音の切替」を参照して下さい。

●送信操作時表示一覧

スイッチ操作	電子音	LED表示	意味
スイッチ操作待ち	プッププッ…	赤色3秒点滅	START又はSTOPの操作待ち。(送信はしません。)
START操作	ビビッ ♪ビロビロビロビロビ	表示無し	エンジンの始動
STOP操作	ピーッ ♪ボロボロボロボロボ	表示無し	エンジンの停止
SET操作	ピッピッ	表示無し	LED威嚇セット、オプション制御(キーレス:LOCK)
RESET操作	ブーピーッ	表示無し	LED威嚇リセット、オプション制御(キーレス:UNLOCK)
CHECK操作	プッププ	表示無し	エンジン始動状態の確認

●アンサーバック受信時表示一覧

スイッチ操作	電子音	LED表示	意味
START操作時 アンサー	ビビッ ♪ビロビロビロビロビ	緑色1回点滅	エンジンの始動を開始します。
	ピッピッ ♪ドミンソソソソ	緑色2回点滅	エンジンの始動中(リトライ含む)です。オートアンサーバック待ち受け中です。(オートアンサーバック設定時)
	ピッピッピッピッ ♪ドミンシレファラド	緑色2秒点灯	アイドリング中です。(エンジンスターターまたはターボタイマー)
STOP操作時 アンサー	ピーッ ♪ボロボロボロボロボ	赤色1回点滅	エンジンを停止します。
	ピーピーッ ♪ドラファレシソミド	赤色2秒点灯	エンジンはすでに停止しています。
SET操作時 アンサー	ピッピッ	緑色1回点滅	LED威嚇のセット、オプション制御(キーレス:LOCK)を行います。
RESET操作時 アンサー	ブーピーッ	赤色1回点滅	LED威嚇のリセット、オプション制御(キーレス:UNLOCK)を行います。
威嚇警報 アンサー	ブーピーブーピー ブーピー	緑色と赤色 交互3回点滅	LED威嚇機能による警報表示中です。
エラーを表す アンサー	ブブー	表示無し	「オートマチック車の登録」がされていません。
	ビビビッピーッ	橙色3回点滅	安全機能(ドア検出・ボンネット検出)が動作中です。
	ブブブッ	同時に橙色4回点滅	キャリアセンス確認エラーのため送信出来ません。(注意2参照)
	ブーブー	又は 橙色2秒点灯 注意3参照	アンテナユニットからのアンサーバックが受信出来ません。

〈注意〉

- 1.イグニッションキーをONにしてから10秒を経過すると、車側のアンテナユニット(無線の送受信部)は動作を停止します。
- 2.「キャリアセンス」とは電波法で定められており、他の無線機が同一周波数(429MHz)電波を送信(占有)している間は電波を送出することが出来ません。なお、通信時間には制限がありますので、しばらくすると送信が出来るようになります。
- 3.スイッチ操作により表示するLEDは、どちらか片方または両方となります。
- 4.オプション制御とは別売品を取り付けて、操作(制御)することをあらわします。

エンジンスターター本体のブザー音について

(オートマチック車登録、キー始動学習を除く)

ブザー音	意味
プッププッ	エンジンスターター本体の電源が入った場合。
プッ	リモコンによるエンジン始動を自動検出した場合。オルタネータ(L端子)配線が正しい場合。
プッ	リモコンでエンジンが始動した場合。
プッ ~ ブー	リモコンでエンジン駆動中。 リモコンでエンジン始動直後から数秒間隔で鳴り始め、残り時間に連動して短くなります。 自動停止直前(1分前)は連続音になります。
ブブッ	スリープから復帰した場合。
ピーピーッ	リモコンでエンジンが始動しない場合。
ピーピーピーッ	リモコンでエンジン駆動中にエンストした場合。
ピー・ピー …… (繰り返し)	車との相性が悪い(悪くなった)場合。 *当社技術サービスへお問い合わせ下さい。 ★警告音はイグニッションキーをONの位置にすれば停止します。

●リモコン

型式名	: HX-08MA
技術基準	: ARIB STD-T67 特定小電力無線局 テレメータ・テレコントロール・データ伝送用無線設備
通信方式	: 単信方式
電波形式	: F1D
使用周波数	: 429.1875MHz
空中線電力	: 10mW以下
電波方式	: FSK変調1200bps
周波数偏差	: ±4ppm以下
周波数偏移	: ±2.5kHz以内
送信時間	: 約1秒
送信休止時間	: 2秒以上
制御コード	: アドレスコード32ビット/ コントロールコード8ビット
局発安定度	: ±4ppm以下
スイッチ	: START/SET,STOP/RESET,CHECK
アンテナ	: 内蔵ロッドアンテナ
動作温度範囲	: -20℃~+60℃
定格電圧	: DC3V
使用電池	: アルカリボタン電池 LR44×2個
重量	: 35g (電池を含む)
外観寸法	: 71mm×29.4mm×14.1mm (H×W×D) *突起部は除く

※仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

●アンテナユニット/エンジンスターター本体

型式名	: MX-08M(アンテナユニット) BX-08MA (エンジンスターター本体)
技術基準	: ARIB STD-T67 特定小電力無線局 テレメータ・テレコントロール・データ伝送用無線設備
通信方式	: 単信方式
電波形式	: F1D
使用周波数	: 429.1875MHz
空中線電力	: 10mW以下
電波方式	: FSK変調1200bps
周波数偏差	: ±4ppm以下
周波数偏移	: ±2.5kHz以内
送信時間	: 40秒未満
送信休止時間	: 2秒以上
復調コード	: アドレスコード32ビット/ コントロールコード8ビット
局発安定度	: ±4ppm以下
アンテナ	: 可倒式ラバーアンテナ
動作温度範囲	: -20℃~+70℃
電源電圧	: DC8.5V~16V
消費電流	: 通常待機時平均 13mA以下
始動検出	: 専用ハーネス (自動) オルタネーターL端子 (選択)
安全対策	: パーキングポジション (自動) ドア開放 (任意)、ボンネット開放 (任意)
タイマー	: 20分自動停止 (設定により5分/30分変更可能)
重量	: 80g (アンテナユニット) 120g (エンジンスターター本体)
外観寸法	: 20mm×45mm×62mm (アンテナユニット) 26.5mm×109mm×70mm (エンジンスターター本体) (H×W×D) *突起部は除く

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

〈保証規定〉

本商品は、厳重な品質管理のもとに製造され、検査に合格し、出荷されておりますが、お客様の正常な状態でのご使用中、万一故障が発生した場合には、本保証書に記載の内容に基づき、無償修理をさせていただきます。

●修理は、お買い求め頂いた販売店に、本保証書および不具合内容等を記入したメモ等を添えてご依頼願います。また、修理の際は必ずリモコンとエンジンスターター本体、アンテナユニットをセットでお渡し下さい。(リモコンのみでは修理出来ません。)

●本保証書は日本国内に於いてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

●本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管して下さい。

なお、下記に該当する場合は、保証期間内であっても保証の対象とはなりませんのでご注意下さい。

- 1.お客様の故意または過失による故障と認められた場合。
- 2.商品を分解したり改造したりした形跡が認められた場合。
- 3.火災、天災、事故、その他紛争等による損傷。
- 4.適応外車両への取り付けや当社専用ハーネスをお使いになっていない場合。
- 5.取付・取扱説明書中の注意事項を守られなかったことにより発生した故障、損害等。
- 6.保証書の添付がないか、あるいは記載事項に不足がある場合。

●消耗部品(電池、アンテナ等)やリモコンのケース破損は保証対象外です。

●修理によって生じた交換部品は原則としてお返しいたしません。

●本商品の製造終了後3年以降は使用電子部品の製造中止等により修理不能になる場合がありますので予めご了承下さい。

※保証期間経過後の修理については、当社技術サービスまでご相談下さい。

修理によって機能の維持が可能な場合は、お客様のご要望により有償修理致します。

アフターサービスについて

使用中に正常に動作しなくなったとき：まず本文の「故障かな?と思ったら」を参考に
してチェックして下さい。「処置」を行っても改善が見られないときは、お買い上げ店また
は当社技術サービスにお問い合わせ下さい。

保証をお受けになる場合：お買い上げ店に不具合内容を具体的に提示の上、リモコン、アンテ
ナユニット、エンジンスターター本体をセットにして、車検証のコピー、保証書と共にご依頼下
さい。なお、保証範囲につきましては、保証規定をご覧ください。

保証対象外の修理について：保証期間を過ぎた場合や、使用上の不注意による故障等、保証の
対象にならない場合の修理については、有償となります。詳しくは保証規定をご覧ください。

リモコンエンジンスターター
EGS-WS
アンサーバックシステム搭載モデル

取付・取扱説明書

製造・発売元

株式
会社 **ミツバサンコーワ**

〒376-0102 群馬県みどり市大間々町桐原3546-1

●お取り付け等、技術的なお問い合わせ窓口/株式会社ミツバサンコーワ 技術サービス

TEL.0277-72-4588

Y-32122-00